京城日報
十五日夕刊
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

第卅九回特別帝國議會

貴族院(十四日)

▲豫算通過

十四日午前十時開會諸般の報告の後日程に入り製鐵業奬勵法案に關する兩院協議會成案を議題に附す協議會長松岡康毅氏登壇協議會の經過兩委員會懇談の結果並に其成案の同意の次第を報告し「既に衆議院は此の成案を可決したれば本院にても賛成され度し」と希望し山脇玄氏此の案に就ての政府の所見を質したるに

▽仲小路農相『政府は三萬五千噸以上の奬勵を必要と認め之れが成立を希望せるも此の成案を得たる以上製鐵奬勵案を成立せしむる爲めに此の案に同意せり』と言明し採決に入り協議會成案を可決す次で臨時議會の重要眼目たる

追加豫算案十件を議題に供し淺田委員長委員會の經過を説明して質問應答の大要を紹介し殊に電話公債に就ては七年度以降の財政計畫と扞格せざる旨の言明を得希望條件を附して可決し委員總會も此の條件を是認せりとて會計法第五條に反する提案並に電話事業及び兵器の希望條件を朗讀し更に第四號追加案中興業銀行に關する五萬圓は關係法律案衆議院に停滯し居れるを以て**豫算面より削除**せりと報告し山脇玄氏より委員會にては米價調節に就きて何等の質問無かりしやと質し委員長より無かりし旨答辯あり後古賀廉造氏登壇教育の進歩に就ての文相の見解並に紛議新派の取締に就て質問を爲し文相の答辯あり議長豫算に就て採決し**全部報告通り可決**の上休憩す時に十一時四十分

午後二時十分再會

大正四年度豫備金支出外二件(承諾を求むる件)

委員長滿閑寺經房伯の報告通り承諾を與ふるに決す

借入鐵道及び輕便鐵道の買收に關する法律案(第一讀會續き)

委員長秋月種英子の報告あり讀會省略原案可決確定

爆發物取締規則廢止法律案

直ちに特別委員に附託後

請願十四件を委員長報告通り採擇

斯くて議長は十五日閉院式御擧行の通牒に接せりと述べ午後二時散會せり(東京特電)

衆議院(十三日)

▲秘密會の經過(十五日朝刊の續き)

秘密會となりたる横山勝太郎氏懲罰事犯議事の經過を聞くに野頭小山委員長より委員會の經過を報告し小泉又次郎氏(憲政)之に一、二の質問を爲し且つ委員會決定の不當なるを極力反駁し無記名投票にて採決の結果

總投票數 三百二十票
可とする者 百八十五票
否とする者 百三十五票

にて委員會決定通りに決し三時十分議場を公開す

▲日程議事終了

議場を公開するや大岡議長は秘密會にて議院法第十六條第一項第一號に依り横山勝太郎氏を譴責するに決せりと宣し之れより諸般の報告あり終つて植原悦二郎氏(憲政)登壇『元シャトル商館領事の大田房太郎不法送還事件の再質問に對する答辯』に就き更に質す處あり次で請願委員長齋藤珪次氏登壇請願二十七件採擇に決せる旨報告あり滿場異議無く採擇に決す大岡議長は『右にて日程の議事を終り只今內閣總理大臣より十五日貴族院にて閉院式御擧行の通牒ありたり』と宣し後一場の挨拶を述べ寺田書記官長をして當期議會の成績を報告せしめ三時五十分散會せり

▲大岡議長挨拶

『三十九議會は本日を以て終了す會期は延長とも合せて二十二日其間本會議を開きたる事十一回部會、委員會を開きたる事百六十三回にして議案請願及び質問の數八百一四件就中追加豫算の如き時局に必要なるものは勿論其他諸種重要動議は悉く議了せり法律案は決算承諾案を除く外悉く議了し殊に時局に適切なる製鐵業法案は貴族院と見る所を異にせるに拘らず審議成立に至り慶賀に堪へず(下略)』(東京特電)

▲閉院式の光景

第三十九帝國議會閉會式は十五日貴族院にて擧行されたり午前十時五十分兩院議員は各議長に導かれて式場に參集し十一時寺內首相は各國務大臣を從へ式場に臨み玉座に向ひ最敬禮の後下條書記官の奉持せる勅語書を受け謹嚴なる語調にて

『兩院議長議員諸君本大臣は勅命を奉じて帝國議會閉會式の勅語を奉讀するの光榮を辱くす』

と述べ勅語を奉讀す此時滿場各員起立最敬禮を行ひ右終るや德川議長は歷階して寺內首相より勅語書を拜受し茲に閉會式を終り一同退場寺內首相は直ちに參內閉會式終了の旨を奏上せり(東京特電)

◎露軍敵本營奪取

露都來電=露軍はガリシャに於ける敵の本營カルフッ市を奪取し多數の捕虜を得たり(紐育電報)

◎獨宰相辭職未聽許

獨逸宰相ベートマン、ホールウェッヒ氏は辭表を提出せるも未だ聽許されず(桑港電報)

◎首相兩院招待

寺內首相は十五日正午貴衆兩院議長以下各議員兩院書記官長等を帝國ホテルに招待せり主人側より各大臣政府委員等列席し寺內首相より慰勞の意味の挨拶あり兩院議長答辭を述べ一時過散會せり(東京特電)

◎奸商制裁

仲小路農相曰く不自然なる最近の米價騰貴は奸商の不正行爲に基因するを以て此際最も嚴重に取締を爲す可く而して斯かる奸商は發見次第峻烈なる制裁を加ふ可し(東京電報)

◎實業俱樂部組織

維新會及び無所屬團中の實業家議員二十餘名は實業俱樂部を組織せり(東京電報)

◎武德會總裁

伏見宮御辭任か

大日本武德會總裁伏見宮殿下には今回同會總裁御辭任の御內意あるやにて後任には久邇宮邦彥王殿下を推薦す可しと(大阪特電)

◎西園寺侯動靜

滯洛中の西園寺公望侯は十六日朝伊香保へ向出發の豫定なり(大阪特電)

◎芳賀博士歸鮮

總督府醫院長陸軍々醫總監芳賀榮次郎博士は十五日さくら丸にて著釜午前十時半發列車にて歸任の途に就けり(釜山特電)

◎英船東洋廢航

英國政府は船腹充足の爲めピーオー汽船會社の所有汽船全部を徵發する事となりたるを以て自然同社の東洋廻航は廢航すべく十四日某所に入電ありたり(大阪特電)

◎寺內首相答辯

外交調査會設置に關する質問に對し

石黑涵一郎氏外四氏より提出されたる外交調査委員會設置に關する質問に對し寺內首相の答辯全文左の如し

先月六日公布せられたる該委員會官制の上諭文を拜讀するに『朕時局の擴大に鑑み永遠の利害を慮り側近に臨時委員會を特設し中外の情勢を考査して應機啓沃の任に當らしむ云々』又官制第一條には『天皇に直隸して時局に關する重要の案件を考査審議せしむ』とあり之に依りて其の設立の趣旨及び其の考查審議の

▲**目的は炳焉**たりと雖更に之を詳言すれば今や世界未曾有の大戰亂に當りて深く我帝國の境遇に顧みるときは事態頗る重大にして刻下の戰局に對しては固より共同作戰の誠意を表現し最後の目的に向て全力を傾注するが爲に內外百端の施措を要するものあり異日兵火熄むの時は講和の會議に班列して我要望の徹底を圖るに於て籌畫其の宜を制せざるべからざるものあり帝國は既に巴里經濟會議に加盟して歐洲與國と共に戰時は勿論戰後に於ても經濟上特別の施爲實行を必要とし之が爲に毫末の遺算なからしめざるべからざるものあり一旦平和克復の後と雖極東に於ける國際關係は政治上經濟上共に逆睹し難からざる所なり而も東洋大局保全の責務は懸りて我帝國の双肩に任り今や四隣の大勢を通觀するときは擾緒爭端甚だ滋く形勢の變幻朝夕を測らず其の帝國に及ぼす影響や實に重大なるものあり彼を觀之を稽ふるときは帝國の前途將來に付牢乎不拔の

▲**國策を樹立**し世界の列强に伍して機宜に處し聖明の宏猷を翼贊するに於て遺算なからむことを期する豈に之を以て一黨一派の業たらすことをなさむや今や千載一遇の機運に際會し上下心を一にし力を協せ沈思凝慮して以て豫め之に對應するの道を講ずべき最緊要の秋なり徒に黨派の異同に因り區々の感情に拘りて妄に政爭を事とし意を此に致さず他日の計を遺却するが如きことあるべからず既に外交及び國防に關しては之を政爭の圈外に置き以て國論を統一せむことは識者の夙に唱道する所に係り未だ曾て之を以て不可と爲す者あるを聞かず是れ悉く今日時局の頗る大なるを念ひ之に處するの道甚だ重きを認識したるに由らずむばあらず乃ち政府は專ら此に鑑み特に外交調査委員會の設立を奏請し上は聖斷の資料に供し奉り下は國論の統一を圖り以て外交の事項を

▲**政爭の圈外**たらしめ列國に對して國勢の歸趨を昭示せむとす面して該委員會の組織を奏請するに當り三政黨の首領に對し胸襟を披瀝し赤誠を吐露して共に國事に盡瘁せむことを求めたるは畢竟如上の趣旨に出でたるものにして曠古無比の變局に處し擧國一致の實を擧げて一意國家の政策を籌畫完備せしむとするの誠衷に他ならざるなり(以下朝刊に續く)

◎東拓改正法案の通過(下)

會社の事業能力は大に擴大さる

東洋拓殖會社理事 川上常郎氏談

の重大問題である、要するに現行の東拓法は會社に事業能力を與へて居らぬ、然し改正法は東拓に商業を除く外何でもやつて妨と云ひ得る位擴張して呉た、勸業銀行の代理店もやれるし、當座は出來ぬが定期預金も預れるのである、此の預金も相當にあるだらうと思つてゐる、かく事業能力を擴張された以上

▲**鮮滿の拓殖**には及ぶ丈けの努力を致すべきだ、之れから徐ろに案を立て、大にやらねばならぬ、序でに衆議院に於ける政府提案の修正は頗るよかつた、尤も吾々は原案の儘でもそれを廣義に解釋すれば衆議院で附加したやうな資金の供給は出來るだらうと思つてゐたが、幸ひに衆議院はそれを明らかに法文の上に現はして呉れたから何等の顧慮なくやつて行けるのである(完)

將來の投資と滿銀との優劣

帝國議會に於て政府委員が東拓法改正案に對する說明中東拓將來の投資豫想並に滿洲銀行か東拓かの比較說明に付重要の點あり其の大要に曰く

東拓は朝鮮の事業に對し將來八年間に五千八百萬圓の資金を注ぎ込み

▲**滿蒙地方**に對しては同年間に三千五百萬圓の資金を供給するの計畫を立て居れり而して之等の資金は內債によりて調達すべく倚ほ移民に對する資金の供給は詳細精確の數字を累示し能はざれども約百萬圓內外なるべく而して每年一千戶宛位收容の豫定なり又滿蒙地方に於ては滿洲銀行と東拓との比較優劣論朝野の間にあり然も滿蒙に資金を供給する途として東拓の優れる所以は多々あるも就中滿洲銀行が不動產を抵當として

▲**資金を供給**する場合或は抵當流れを生ずるやも圖り難し斯かる際銀行としては之れを賣却其他の處分をなす外なきも東拓は一面拓殖事業を實行し居るため其の抵當流れの地面を直に拓殖し得る便宜ある也東拓が上述の如く拓殖事業を營む事を目的とする會社の株券又は

▲**債券の應募**は引受けをなし得る事となつた結果鮮滿に於て頗る有利有望の事業あり然し新領土なる爲め資本不足し又內地よりの流入も一寸困難で起業は出來ぬと云ふやうなのがあれば、東拓は其會社の株券を引受之を姉妹會社とする事か出來るやうになつた日本の特殊銀行會社で如斯能力を明らかに法文の上に認めた事は東拓法が嚆矢で事實拓殖上

◎改正郵便規則 七月七日施行

府令を以て發布されし郵便規則中改正の件たる無封書狀の範圍を決定せしもの並に盲人用點字の郵便料金遞減の件は既報の如く十五日より之れを實施せり

◎東淸線値上問題

東淸鐵道にては露國國有鐵道が六月二十四日より其の貨物賃金を三倍に又乘客賃金を五割分引上げたる結果均しく値上の計畫あり目下相當手續中の模樣なるが之れ同鐵道の財政狀態より見れば止むを得ざるの處置なりとするも若し之れを吾が鐵道との連絡にも及ぼす事となれば對露貿易上の問題と云ふべく又本邦鐵道側より云へば右の如き突飛なる値上は十分抗議の餘地ありと

◎全鮮の傳染病

最近六箇月に於ける全道の腸窒扶斯、赤痢等其他傳染病發生數は面積に比して人口稠密なる京畿道を最とし其發生總數三百五十三人、之に次げるは咸南の三百十一人、平北の二百六十七人等なるが最も少なきは忠北の二十二人忠南の二十二人なりと

◎測量講習會終了

各府郡財務書記四十餘名を召集し土地調查事務講習會を土地調查局內に於て開會中なりしが十五日終了に付來る十七日總督府に於て講習修了證書授與式を擧行する由尙ほ當日政務總監より茶菓を饗應さるべしと

◎傭人暑中休暇

七月十一日より九月十一日迄の間に於て總督府及び所屬官署傭人には事務の繁閑により一週間以內の暑中休暇を與ふる

◎米國商務官動靜

十三日夜入京し朝鮮ホテルに滯在中の米國商務官リーア氏は十四日午前八時自動車を驅り副領事カーチス氏を同伴事務に訪ひ相携へて龍山鐵道局を訪ひ長官に面會を求めたるも不在の爲め汽車課長に面會し朝鮮鐵道局の營業數理改良工事の現在及び將來の計畫其他鐵道經營上の經驗談等に約一時間を消し十時五十分辭去したるが同氏は尙一兩日間滯京し市內の見學をなしたる後滿洲より支那本部を遍歷したる後上海より橫濱に入港し各地各所の視察を遂ぐる豫定なりと

地方通信

仁川

▲記念品贈呈 今回商業會議所書記長となりたる岡本保誠氏に對し仁川府廳及び各學校議員有志より金鎖一筋記念品として贈呈したり ▲飯田氏催宴 仁川米豆取引所社長飯田茂登雄氏は十五日午前十時大神宮に於て四十才の厄除式を擧行終つて八阪樓に於て宴會を催ほされたり ▲十年勤續祝賀會 仁川公立普通學校副訓導徐丙熙氏は十年勤續其間功勞多きを以て本月二十四日同氏の誕辰日を卜し祝賀會を催す因に記念品として銀盃一組を贈り春史(徐氏の雅號)詩文集三百冊を印刷し祝賀會賛成の有志に配本する由

清津

▲農作害虫發生 咸北道各地には昨今盜蛾夜盜虫其他農作物害虫の發生夥しく被害少なからざるが殊に明川、吉州、鏡城、會寧各郡の被害は慘狀慄然たるものあり農民は之が驅除に努力しつゝあるが被害作物は粟麥玉蜀黍等にて殊に麥は被害甚大なるものゝ如し ▲國境輸出牛不振 咸北道國境輸出生牛は本年甚だ不振にして前年の三割に過ぎざる有樣にして主要なる內外輸出地に就いて見るに昨年三月より六月に至る三箇月間新阿山輸出生牛は九百一頭價額四萬八千百二十一圓なりしも本年同期には僅か二百二十七頭一萬七千二百三十六圓に過ぎず之が原因は鮮內牛價の昂騰と露貨留の不確定の二點にある ▲間島防穀延期 旱魃の爲本年の農作物は秋收を悲觀されたる間島地方農作物は客月下旬末の豪雨にて勢を恢復し發育良好となれるより過般支那官憲の發表せる防穀令は愈々無用に歸せるが支那官憲は我官憲の交涉もあり事を以て今回同令の實施を延期するに決し本月五日之が發表を見たり ▲霖雨期に入る 咸北地方は本月に入りて漸く霖雨期に入りたるものゝ如く降りみ降らずみの曇天勝にて久しく旱天に苦しみたる農作物は危く枯死を免れたるが殊に十日夜より十一日に掛けての降雨は充分土地に濕潤を與へたれば農作物は初て蘇生の色あるに至れり

清州

▲成繭品評會 清州郡農業組合にては既報の通り去る十三日より三日間同組合乾繭場に於て第一回成繭品評會を開催したるが出品數三百に達し各郡生產繭も忠北道蠶業講習所其他よりの參考品出陳等多數に上り觀覽者引きも切らず意外の成功を收め十五日午前十時より公立普通學校に於て特等二、一等五二等一〇、三等二〇、四等三〇合計六十七點に對し褒賞授與式を擧行したり一般に蠶業の發達改良の著しきを認めらる ▲小學生の早起會 淸州公立尋常高等小學校にては來る二十一日より四十日間の夏期休暇中同校尋常三學年生以上の男女兒童中の希望者によりて早起會を催し朝食前迄の運動をなし尙武的氣象を涵養せん目的にて過日來父兄に賛同を求めたる處意外に參加希望者多く中には父兄親らも參加を申出でしあり會員百名以上に達するなるべしと ▲忠北乾繭相場 忠北道春繭は既報の如く去る七月以來永同沃川淸州忠州に於て共同販賣に附しが其最高値段は特等石九十二圓五十錢一等八十六圓六十錢二等八十一圓五十錢三等七十六圓四十錢四等七十一圓二十錢等外六十六圓五十錢下繭四十八圓同玉繭三十圓なりき ▲水害被害高 去る四日の大出水に際し淸州警察署管內の被害程度を聞くに朝鮮人死亡二名行衞不明一名家屋の倒壞半潰二十軒浸水百二十六戶此被害六百六十圓田畑流失九百町步浸水二千三百町步宅地浸水六町九反步此損害額五萬四千八百六十餘圓道路堤防鐵道橋梁(四州面の一部梧倉面を除く)の流失破損約一萬圓にて之に四州面梧倉面の被害高を加ふる時は合計八萬五千圓に達すべしと

紛糾せる支那政局

▲張勳引渡を交涉す

段祺瑞氏は曹汝霖氏を和蘭公使館に派し張勳の引渡を交涉せり(北京電報)

▲和蘭公使の擅斷

獨兵參加は其指金

館に收容され居たる獨逸兵四十餘名は和蘭公使の召集に依り十二日戰鬪當時は武裝して部署に就きしが英佛公使は和蘭公使の擅斷に對し抗議せり(北京特電)

▲張勳獨逸兵營に逃る

張勳氏は十二日夜六時獨逸兵營に移り墺國兵の警衛を受け居れり(北京特電)

▲國務院會議開催

段祺瑞氏は重なる部下を隨へ十四日午前八時過天津發入京し直に國務院會議を開けり(天津特電)

▲宣統帝宮中遁逃說

宣統帝は遁逃し宮中に在らずとの說盛なり(北京特電)

人事消息

▲長谷川作次氏(三井物產會社員) 十五日朝入京朝鮮ホテルへ(同夜退京內地へ向ふ筈)
▲奥村鎭吉氏(大阪アルカリ製造會社員) 同上入京朝鮮ホテルへ
▲寺師正平三氏(滿鐵貿易商) 同天金旅館へ
▲小原塵氏(大阪石板會社重役) 同上
▲三宅長策氏(辯護士) 十四日退京
▲早稻田野球團一行十五名 十六日朝入京南光館へ投宿の筈
▲大阪府商生徒一行二十六名 十五日前仁川へ
▲東京女子高等師範學校生徒一行 同上
▲私立五星學校生徒四十二名 十五日平壤へ
▲私立徽文義塾生徒七十七名 同元山へ
▲李軫鎬氏(全北長官) 十五日退京
▲張國威氏(仁川支那領事) 十五日入京支那領事館へ
▲松元熊熊氏(仁川府稅務長) 十五日入京

時間表

(南行) (北行) (南行)

口島の巡査生活（八）

陰氣なことも陽氣だが又苦しい
◇◇◇名も知れぬ淋しい花　有難いのは金が溜る◇◇◇

笠原からの急報に接すると駐在所でも驚いた、是は容易ならぬ椿事出來！とばかり佩劍の柄を握つて玉島に出張した『何しろ餘り死に方が穩ですからな、若性の惡い病氣でゞもあると大變ぢやと思ひまして……』と笠原から一通り當時の摸樣を訊いた後イザ檢視といふので裏山に這入つてゆくと何百とも知れぬ鴉が頻りに啼き交ふてゐる、漸くにして屍體の傍まで來るとパタ〳〵と凄じい

◆吾かして凄い〳〵　一團の雲が　舞ひ上つた、何あに◆

これが皆鴉さね、屍體は松林の中に仰けにしておいてあつたが驚いたことには眼玉もなければ鼻もないその他鼻と云ば手と云はず一面傷だらけでドス黝い血さへ滲染んでゐる、折柄陽の入合で樹間を漏れる紅い夕陽が屍體の横顏をボンヤリと照らして凄いとも酷らしいとも何んとも言ひやうがない、是迄で何度も檢視に立會ふてこんな事には馴れ切つてゐる駐在巡査もこの時ばかりは丁度春中から水を浴びたやうに慄！として思はず顏を反けたそうだ、檢脱の結果は醫者ならぬ巡査にも恐しい傳染病でないと判明したが困つたことには引取人がない、何處の者だといふことは解つてゐるが詳しいことは笠原も知らない

◆已むを得ず永久に　玉島の土と　する事にして共葬◆

其處に埋めたさうだが、今はその跡に名も知れぬ草花が淋しさうに咲いてゐるとやら……』是なども島生活が生んだ悲劇の一つであるが話しはこゝで又元に戻る、偖て島の巡査にとつて異から有難いと思ふのは生活費の要らぬことである、好い著物を著て虛榮を張る必要もなければ義理を立てゝ交際する必要もない、唯だその日その日の鼻の下の勤進の外は費ひ度くても費ふ場所がないから月々の俸給は殆んど全部殘り、一二年といふものを無事に勤續すれば相當

◆の貯金あへ出來て　懷中は大温　く温くさいふ有樣◆

である、何あに決して好い加減な出鱈目ぢやないさ、その證據には甕岸方面にゐる巡査が少し貯金でもし度いと思ふと自ら進んで島行きを志願するのでも知れやう、勉強が出來るといふことは『金が出來る』といふこと、共に又島の駐在巡査が有難く感ずる處である、勤務は辛くつても暇が多いから勉強は思ひの儘である、島に居る間を利用してミッシリと勉強し美事警部試驗にパッスした巡査も尠なくない、これ等の巡査に取つては島は實に立身の階梯出世の登龍門とでも言ふべきであらう

二十三尺　●大同江增水　渡船交通杜絶

大同江の增水は十五日午前十時に至り二十三尺に達し江岸の民家數十戶浸水せる箇所あり目下大同江の各渡船の交通は全部杜絶し各船員は上陸避難せり稅關貨物は浸水の虞あり急遽荷造中にて奥地の降雨意外に多量なる見込みなれば何此上の增水を免れず平壤市中は萬一を慮り警察側にては警戒し居れり（十五日正午平壤特電）

●船中で劇藥情死を遂ぐ　店員と關係して墮落

大連越後町絹商廣野權八妻ナミ（三八）は同家の雇人鹿兒島縣人山崎秀清（三二）と良夫が天津方面に留守中割なき仲となり他の店員の目を偸みて密會を續け居たるに良夫より六月二十八日歸宅すべく電報ありたるに打驚き毒を喰はば皿までと女の淺墓なる考へより秀清と

▲手に手を取りて同日大連を出帆せる十六共同丸に乘込み靑島へ驅落をなせしが其の際なみは權八が十年間苦心して貯蓄せる一千二百圓餘りの金の内その半分程を密會のために消費し驅落の砂その餘金を携帶して逃走したる後に歸宅せる權八は取調したるに初めて妻なみが山崎と高飛したることが分り直に民政署に

▲搜索願を差出したり之より先き十六共同丸は濃霧の爲め豫定より遲れて去る二日午前五時頃靑島へ著したるが同地官憲にては此時既に取押への電報に接し居たれば早速船中を臨檢せるに出願者の如き姓名のもの居らざるも前記ナミ秀清の二名の樣子が何となく怪しく船員も航海中萬一のことなきやう注意を加へ居たりとのことに早くもそれと憲兵の見破る處となり玆に流石の兩名も

▲最早之れまでと豫て隱し持ちたるモルヒネを服用上陸し水上分隊へ到著するや否や兩名共打倒れしかば直さま靑島病院に擔ぎ込み應急手當を施したるも其の甲斐なくなみは死亡し秀清は苦悶の中にも漸く生命だけ取止め目下加療中なるがなみの屍體は同地にて茶毘に附し十二日午前十時入港の龍平丸にて大連に送還したり（靑島）

●夫を嫌って絞殺

慶北尙州郡恭除面中所里金分岳（一八）といふ女は一昨年十二月十六日居村の李八全（一八）と結婚したるが夫の八全は未だ子供にて夫婦の愛情なきを厭ひ二層夫を殺して他に緣附かんものと決心し本年の四月十日夜夫八全の熟睡し居る機に乘じ大膽にも自分の裳の紐を取つて夫の頸部に卷き附け絞殺したる事發覺して同地憲兵分隊に捕はれ大邱地方法院に送られ豫審中なりしが愈々豫審決定し殺人罪として公判に附せられたり

●馬賊　邦人を慘殺

支那法庫縣三台子に居住せる賣藥商長崎縣人島田留吉（三〇）は四名の馬賊に寢込みを襲はれ金品を掠奪されたる上慘殺されたりとの報あり（大阪特電）

盂蘭盆

●鮮人歩兵少尉　妻を訴ふ

離婚の請求に勝訴

本籍京城花園町五十二番地當時岐阜歩兵第六十七聯隊第二大隊第五中隊陸軍歩兵少尉張錫倫は訴訟代理人李琮夏を代理人として其の妻なる京畿道振威郡靑北面土津里居住の申順嫜を相手取り離婚請求の訴訟を京城地方法院に提起せり之れが内容に就き聞くに夫錫倫は今より八年前順嫜を妻として迎へ其の後内地に遊學して現在の地位迄立身したるものなるが妻順嫜は夫の不在中厭々情夫を拵らへ其の結果大正五年八月中私生女兒を分娩するに至り其の後錫倫より離婚を申込みたるも應ぜざるより右の訴訟に及びたる由なるが地方法院にては民事第一部野村裁判長の係りにて關係者の證人訊問警察官憲の調査等に依り右の事實明白なるを以て原告の勝訴となり此程原被兩名は離婚すべしとの判決ありたり

●同志社學生演奏會

十六日午後六時より南米倉町基督敎會に於て京都同志社學生演奏會開催の事は既報の通りなるが當夜の演奏曲目左の如し

▲第一部　一男聲四部合唱才女（小學唱歌集より）グリークラブ　二山下直君平田君濱小島隨君二オルガン獨奏甲故郷へ（ヴヰリゲ）乙遊櫂の歌（ワグネル）大中寅二君　三合唱甲ブルドッグ乙ボンゴ（米國學生歌）グリークラブ　四二部合唱舟子（女學校唱歌集より）山下直君平田君　五四部合唱おいジョンさん（ブラウペレー）グリークラブ（代理）▲第二部　六四部合唱海に聲く八つの鐘（ヘンリー）グリークラブ　七オルガン獨奏子守歌バリエーション（舊）大中寅二君　八四部合唱甲植生の宿（ビショップ）乙二ツの蛙（不詳）グリークラブ　九獨唱シンジミートースリープ（ヒゴカムゲリーチ）與内清君　十四部合唱甲サム小父さんの茶話（サエストマン）乙さようなら學生歌（以上）

●六甲山奥に豹　再び搜索開始

須磨遊園地より逃走せし豹は十四日夜六甲山の奥を通行せし支那人が認めたりとて其筋に屆出でたるを以て十五日朝より再び搜索を開始せり（大阪特電）

●陰性と確定す

既報京畿道安城邑內菓子商猪木清一郎の妻よし（三五）が十三日朝疑似虎列拉の症狀を呈したるより水原慈惠醫院に於て吐瀉及び排泄物を檢鏡の結果十五日朝陰性に確定せりと

●詐欺事件判決

全南高興郡高興面西門里申良國、李長面外一名が村有地數千斗落を擔保とし金十萬圓を借入れんと釜山居住の金敬浩、齋藤岩三郎、梶田利一、森田嘉一等の手を經て福岡縣福岡市外大歸村原田芳則（四）に依賴したるを芳則は侯爵鍋島家と親族關係あれば周旋すべしと稱し昨年十二月以降に實地調査旅費名義に百七十餘圓を騙取したる一件は釜山地方法院に於て森裁判長窪田檢事の係りにて七日公判開廷せられ檢事は被告芳則を懲役一年に求刑し附帶私訴一千二百八十七圓の中釜山滯在中の費用三百二十圓及び告訴費用六圓を除き其他の請求は相當なりと論告せられたるが判決言渡は來る十四日なり（釜山）

●六百圓拐帶者

佐賀縣西松浦郡東山村西田勇吉（三〇）は去月五日親族なる同地前田熊吉の所有金約六百圓を拐帶逃走し行方不明となりしが同人は朝鮮に向ひたる形跡あるより朝鮮各地憲兵警察に取押へ方を依賴し來り搜査中大邱元町下宿屋東洋館に投宿せること判明し大邱署にて取調べしに已に二百餘圓は費消し現金三百六十五圓餘を所持しゐたるより惡い其不心得を諭したる上現金は警察署の手より前田の許に送り同人は七日午後の南行列車にて本籍地に歸還せしめたりと

●木刀で威嚇す

慶北慶州郡川北面葛谷里崔海舟（三二）は曩に窃盜にて懲役四月に處せられ去る五月三十一日滿期出獄せしが歸宅後何等職業なく賭博に耽り居り其の資金の不足より又も惡心を起し隣家崔海滿が盲目にして家內不人なると近頃金の入りたるを知り去る六月九日午前一時頃木刀を携へ崔海滿方の門前に到りたる處畜犬頻りに吠立してため躊躇し居りし中家人は目を覺し人影を認めて誰何せしに賊は直ちに室內に闖入し木刀を以て主人崔海滿を打ち速かに金を出せと脅迫中、同人の老母は隙を見て庭前へ飛出し大聲を揚げて近隣の救ひを求めたるより賊は狼狽し一物も奪ひ得ず逃走せり崔海滿は身體數箇所に輕傷を負ひ警察署へ訴出でたるより爾來犯人嚴探中の處崔海舟の擧動不審なるより同行取調べたるに包み切れず自白に及びたるにぞ取調終了の上檢事局に護送せられたりと

讀者文藝（一等に五十錢分を呈す）

△川柳『東』

○東京の伯母もきよ菜の一つなり（一等）龍山元町こまや方　岡本小草

▲へとれけが本道なする三文會　大邱　春村

▲東方西の土佐で詩死し　鎭南浦　大へ

▲死は西へ生は東へ手を合はせ　汗浦　紫浪

●小泥棒

住所不定の前科三犯盛九根（三八）といふは十日午前二時頃住所不定の金七星（三五）に見張をなさしめ貫來洞百十五統崔丁伍方に忍入り罐詰十二個、麥酒六本、葡萄酒二本を窃取して逃走せんとする所を鍾路署の警官に取押へらる

暑い時分に人中に出るには

何んな服裝が最も便利か

―聞く公衆を相手にする派手な職業にある人は縞の背廣服で結構―

『衣冠整へし人の暑さかな』とでも言はうか、何事にまれ形式を重んじ儀禮の尙ばるゝ京城、否朝鮮では此の著さにも怯まず

◆停車場に人の送迎、訪問、歡迎會、送別會、晩餐午餐會、苟も人中に出のには是でなければ禮を失するかのやうにフロックコートを著用に及ぶ人が多くある紳士の體面を保つ上においてまことに結構な事であるがフロックコートを著る者の最も多い本場の英國でさへ大戰勃發以來フロックコートを著る人が著しく減つて來たさうである

◆今日フロックコートを著る者と言へば宮廷の役人が列國の使臣に交渉の多い大政治家かで、銀行會社等であれば重役以上の人でなければ著用しない、一般の人になつては餘程改まつた儀式の場合とか、葬式等でなければフロックは用ひずにモーニングコートを著るやうになつたそして禮服を著用せねばならぬやうな

◆機會を多く持つ職業の人は黑色か、藍がかつた紺の背廣服の三ツ揃ひで濟ませてゐる、その他廣く公衆を對手にするやうな派手な職業にある人は縞の背廣を用ひてゐる洋服の流行も一時は二ツ鈕となり一ツ鈕となり襟を深く折つて胸を廣くするのが流行してゐたが昨今では次第に舊に復つて三ツ鈕となり打返しも狹くするやうになつて來て總べてが質素になつた

◆體裁よりも實用が重んじられるやうになつた事は注意すべき現象で要するに一般の最上禮服はモーニングになつてフロックコートは葬式の時以外には餘り必要を認められなくなつたと言つてよい、朝鮮の如き各階級を通じて活動を要せねばならぬ植民地にゐる人は重立つた儀式の場合の外は成るべくフロックは廢してモーニング又は背廣を用ひては何うであらうか

◆近く金筋の制服を脱いで會社員にならうとする鐵道局の人達は背廣服を作らうとしてゐるが、前に述べたやうな理由で高等官階級からその以下の人にあつてはフロックは不必要である、モーニングと背廣があれば澤山である、モーニングは上著と短衣は黑がよく、ヅボンは餘り派手でない黑ツぽい縞がよい、普通の人は背廣があれば澤山であるとは歐羅巴通の某氏の談である

●小使は曲者

元土地調査局小使鳳凰洞金運準（三二）は土地調査局……番地理獎菓金大興方より眞鍮製の鉢一個此の價格金一圓三十錢のものを……前に張り番し殘る二名は主人の寢室に踏み込み如柄生の胸元を掴みて引起し更に一尺三寸ばかりの……

●連絡船上陸客

十四日午前八時三十分釜山入港新羅丸一二等客……九十一二等客　十四日午後九時三十分釜山入港對馬丸……

●募集規程

△川柳は端書又は同形の洋紙一枚毎に武上の雅號又は本名の外に住所氏名を……

天氣　くもり　曇一時晴

演藝案内

壽座　京城壽町　電話七五八番
當地お名殘興行七月十六日より向五日間日延なし　世界的大魔術松旭齋天一一師出演　外大一座六十名……

有樂館　京城黄金町　電話（略上）四九七番（略下）二〇五番
十二日より四日間公開日延なし　早川演藝部　經營直營　東京小林商會特約　世界一の文藝史劇『マクベス』九卷……活動之世界曰く『マクベス』……

壽館　京城壽町　電話一〇五〇
七月九日より毎日午後六時開演　二代目桃中軒雲右衛門一行……

大正館　櫻井町　電話八七三
十五日より提供の大寫眞（五日間日延なし）……

稻荷座　本町五丁目
竹川馬生一行再演……

黄金館　電話二六三七　六五二
……新派活悲劇……

北洋商船株式會社株式賣出

北洋ニ忘レラレタル巨利

本年三月北洋汽船、能越汽船、樋爪商會ノ三社ヲ打ツテ一丸トシ資本金百萬圓ノ新會社ヲ起セル者之ヲ北洋商船株式會社ト云フ同社ハ近海航路ニ於テ殊ニ北海道以西ノ本州中部以北ノ各地ト……大動脈タル航路ヲ有シ……

◎同社ノ設立事情

合併セシ三社ハ皆北陸財界ニ知名ノ士ニシテ……

◎同社ノ現財產ヲ觀ヨ

同社ハ資本金壹百萬圓二萬株第一回拂込額參拾萬圓ニシテ四月一日開業セル處ナルガ……

◎同社株式前途ト利廻リ

同社一ヶ年純利益（諸經費差引）ハ凡ソ左ノ如クナルベシ……

賣出要項

一會社資本金　壹百萬圓（貳萬株）
一賣出株數　參千株
一賣出價格　壹株ニ付金四十二圓五十錢均一
一申込證據金　壹株ニ付金拾圓
一申込株數單位　十株以上
一申込期間　七月十二日ヨリ廿一日迄
一株式引渡方法　……

公債株式現物問屋　大阪市東區今橋二丁目　樋口捨吉商店　電話本局一五七八番、一八六二番、一五七九番、一五二九番、一五八〇番　受信略號（オサカヒグチ）

公債株式現物問屋　東京市日本橋區阪本町　高田悅三商店　電話浪花特長四三番、一八〇三番、八六番、一八六〇番　電信略號（タ）又ハ（タカタ）

取扱所

門司市仲町七丁目　野村式店
長崎市西濱町　河野八文平
下關市西南部町　高山藏吉
松山市三番町　小東鶴純太郎
名古屋市伊勢町　山口信右衛門
鳥取市南片原町一　河野七郎
廣島市大本川町　岡村清兵衛
京都市中之町御池南　清水勘助
和歌山市室町　岡野次郎
若狹小濱市丸之內士番丁　柳村才衛
岐阜市神田町　小濱株友會俱樂部
中川孝造

…二十餘圓のもの四圓…署にて取調べの上十四日檢事局送り
足らずして勝手に入質したること發覺して捕へられたるが此者は本年一月二十五日午後一時頃校洞百五十…

●四人組の賊 去二十六日夜慶南山淸郡車黃面陽谷里申柄圭方へ四人組の强盜押入り内二名は門…室内を捜して現金四十圓、衣類雜品十七點（十五圓）を强奪して逃走せしが目下山淸憲兵分遣所にて犯人嚴重搜査中

…二等…用守田藤一、今井良亮、佐藤辰太郎、柏木幸助、金川才吉、渡瀨留吉、稻本良助、伊賀かずゑ、同元雄、高橋利吉、白木淳稔、藤原啓一、田中遊井手富三郎、谷村英造、淺野忠道、同俊子、木下智照、齋藤傳三、李丙吉、金奐成、土井源三郎、向井德三郎、大川内竹一、澤木潤次郎、佐藤福兵衛

二等（十三名）西田宿三郎、田中勝平、淺野忠齊、同きよ、同高德、同愛子、鈴木天翠、同市子、鐵株節、中谷孫七、加藤藤太郎、同盟丸、柳井松楠
三等（七十九名）

△一日吟「其時々の事」 同十八日
△下句付「仲直り」 同十九日
△都々逸 同 同二十日
△俗謠 同 同廿一日
△川柳「平」 同廿二日

…表後一週間以內に剽窃又は同案發見の節は… 御告者には五十錢書籍券を呈す（但何書何號と明記に限る）▲宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

オトギバナシ 古徳利物語

太郎さんは、ある日、お庭に、小さな鍬を持つて下りて、小さなお池を掘りはじめました、お池を掘つてそのお池に金魚を入れようと思ふのでした。

お尻をからげて、せつせと太郎さんは、お池を掘つてゐましたが、小さな鍬が何かに當つてカチリと音がしました。

『石か知らん、どうれ？』と太郎さんは、音のしたところを能く調べて見ますと、石ではなくつて何だか陶器のやうでありました。

『石ぢやない、何だらう』と、云ひながらやつとのことで掘り出して見ますとそれは一つの古徳利でありました。

『何だ古徳利か妙なものを掘り出したな。』

太郎さんはその古徳利を取上げて眺めてをりましたが、お伽噺でよくそんな古徳利のやうなものを掘り出して、その中からいろんなものが出ることを思ひ出しまして

『この中からも、いろんなものが出ると面白いな小さなお馬出ろ！』と冗談半分に、小さなお馬出ろと云つて見ますと、不思議々々その古徳利から、小さな〱生きたお馬が飛び出してヒンヒンと鳴きました。太郎さんは大びつくり

『や、お馬が出た、小さなお馬が出た。今度は小さな自動車出ろ！』と云つて見ますと、古徳利の口から小さな自動車がブーブーと音を立てながら出まして、お庭を獨りで駈けました。太郎さんは手を打て喜んで

『自動車とまれツ！』

と號令をかけますと、自動車はピタリととまりました。

『面白いな。今度は何を出さうかな鳩が好からう。鳩出ろ、鳩出ろ！』と云ひますと、鳩が一羽古徳利の中から飛んで出て、ポ、ポーと鳴きながら、何處へか飛んで行つてしまひました。

『今度は何を出して見よう？、カステーラを出して見よう。カステーラ出ろ、カステーラ出ろ！』と云ひますと、旨しさうなカステーラが三きれ出ました。その一きれを食べて見ますと、旨しい〱カステーラ!!

『今度はサイダー出ろ！』

するとサイダーが一本出ましたから、太郎さんは直きに口をあけて飲んでしまひました。

『これはほんとに好いものを掘り出した。誰がこんな不思議な古徳利を埋めて置たのだらう。不思議だ〱』

太郎さんはお池を掘るのは止してしまつて、その古徳利をお縁の上へ持つて行かうとしますと、お馬も、自動車も、食べ殘りのカステーラも、

サイダーの空瓶も、急いで古徳利の中に飛びこみました。鳩も何處からか歸つて來て、羽ばたきしながら飛びこみました。

『面白い〱。ほんとに面白い古徳利を掘り出した。これでみんなをびつくりさしてやらう。きつと誰だつてびつくりするぞ。』

と太郎さんは、その古徳利の中からいろんなものを出して、お父樣にもお目にかけました。お母樣にもお目にかけました。お友達にも見せました。すると誰も彼も目を圓くして大層びつくりしましたとさ。（なはり）

◆暴風雨の起る原因

……暴風警報利用の必要に就て……

仁川觀測所長 平田德太郎氏談

低氣壓が起ると前述の如く四方から中心に向つて渦をなして吹き込む風は上昇氣流と言つて中心に近づくに從つて上層に向ふ此の時上昇氣流が暖い水分を齎らして上ると水分は冷却して

◆凝結◆し雲となり雨となる。普通南から來る風は暖く且つ水分を持つて居るから、此の風が吹き込む低氣壓の東側は通常雨が多いのである。此れで低氣壓の風雨を起す理由は概略分つた事と思ふが今度は低氣壓の進行に就いて述べて見やう。低氣壓が發生すると永く同所に滯留せず朝鮮附近は大體支那方面から日本方面に去るのであるが其

◆發生◆は四季に依つて多少づゝ違ふのである、即ち冬季は北支那蒙古又はシベリヤ方面に發生し春から夏にかけては揚子江の上流地方に起り二百十日前後の大低氣壓は南洋方面から琉球列島を經て本州に向ふのである、低氣壓の進行は概ね一時間

◆四十◆四十キロメートル（約十里）位で夏は一般に遲くなるが朝鮮半島を西から東に横斷するには大約十四時間を要し暴風雨の繼續する時間も又十四時間位である、さて此の低氣壓の進行に伴ふ天氣の變化に就き特に朝鮮地方で

◆注意◆すべき事は春夏は南東風が吹けば低氣壓が近し同時に天氣が險惡になつたり、低氣壓が通過後は北乃至西風となり天氣が恢復し冬は北西風の吹く時は普通の天候であるが北支那又は蒙古方面から低氣壓が進來して來ると此の風が歇み氣温が上り曇天となり雪が降りそして低氣壓が通過し風位が北西に變ずると共に風力が强くなり時として暴風になる事があると言ふ具合で殆んど

◆機械◆的になつて居るのであるから一般人と雖も此の大體の觀測法を心得て居たなら日常非常に興味を以て天候を觀察する事が出來る事と思ふさて以上はざつと暴風雨の起る理由を說明したのであるが此れに就いて農事經營者航海業者、漁業者其他天候の影響を蒙る職業に從事して居る者に對して利用して貰ひたいのは

◆暴風◆警報である、此の警報に就いては屢々官報を以て發布し當時新聞紙上にも掲載されたのであるから再び說明を要しまいが近頃追々普及さるゝ樣になり日を追ふて申込者も多いのは喜ばしい事で今後益々利用せられん事を希望する者である云々（仁川）

◉煮ても燒ても安心が出來ぬ

夏季食物衞生

夏期の衞生殊に疫痢などを誘發し易い果物などに對しては當局に於ても係員を果實店に派して取調べさせ不良と認めるものは捨てさせてゐる……所が實際の効驗は何うであるかと云ふに却々希望に添ふ結果は得られない現に果實を買ふ

◉客の中には 採つたばかりの物は味がないとて態々少し變になつた物を求める者さへある客の求めるものを遮り止める譯には參りませんと果實店では答へる又斯やうな果實を喰べても比較的胃腸を害する者が尠いのは不思議のやうですが果實には醱酵と腐敗との區別があつて醱酵は無害腐敗は有害であるが一寸見た處では解らない然らばとて學術的に研究してから喰べるのは困難であるが幸ひに

◉鼻と口とは 天性正直に出來て居て厭な香がして口に入れても矢張り厭な氣のするのは醱酵でなく腐敗であるから嚥下さず吐出せば一體に害はない鼻と口との巧妙な事は動物に試驗しても直ぐ解る前に述べた通り果實は案外に安全な理由は果實は酸氣を多く含む故有害物の發生を自然に防止して居るからである然るに鳥獸や魚肉乃至豆類と果實は大いに

◉性を異にする 即ち蛋白質に富む爲腐敗する塲合が多い一旦腐敗すると有毒なプトマインが生ずる此プトマインは生の塲合ばかりでなく煮燒した物にも出來る而して困る事にはプトマインは煮ても燒ても消失せない事が尠くない其故夏季の食物は煮燒すれば安心といふ譯にはいかないが其も學術的でなく知り得る方法がある矢張り鼻と口とに訴へるのであるが鼻と口とで證認しないなら捨てて了ふに限る尙

◉鱧の產卵期 には毒がある鱧とて喰べないが魚類も卵を喰べて中毒する人が尠くない總て繁殖の必要上卵若くは卵巢に毒を含んで居るかも知れぬと思はれるから成る可く魚の卵は喰べぬ方が宜しい

渚の砂

◉寧ろ當然也 木浦にては行政整頓として料理店飲食店の營業を擴大し各旅館の女中にも健康診斷を行ふとは用意周到恐服の外なし

◉華嚴の瀧に 日光華嚴の瀧では突然の爲め去る六日から九日迄に四個の屍體が浮び出たが中男女の二個は靜岡市外安部川筋の佛陀半以助三郎（三三）と東京新吉原河内樓娼妓白玉事田中ます（二五）らしく他の一人は臨非醫專非羽丸岡町松崎寧常小學校訓導前田茂（二五）で他の一は終然の爲め逃失したさうな

◉生活難の慘劇 尾張東春日井郡舊町陣夫若杉利助（二九）は妻すず（二七）との間に勇五つ（四つ）せき（四つ）健次（一つ）といふ子供があり長い間病氣で食ふことも出來ず此頃漸く病み上りの身で勞働を勵んで見たが力が無くて働けず失れた悲觀して十一日夜三人の子供を刺殺し自分も自殺未遂で重傷を負ふたのを生き殘つた妻が介抱してゐる

◉刺靑男の末路 横須賀市逸見町長倉由三郎（三〇）は體中に忍術の刺靑を刺み込んで片肌脫いで女を姉に捲き込んで潮鮮を深設中大連で娼妓稼業中の岡崎市前町生れの伊藤かれ（二八）といふを連れ出して驅け南入共盜裝して去る十一日夜愛知縣愛知郡八幡村の海岸に抱合つて情死を遂げてゐるのを發見した

◉野良猫暴れる 名古屋市では頃日狂犬で大分騷いでゐる、昨年は狂猫も澤山出たさうで一匹の野良猫が狂犬に咬まれて夫れが暴れ廻り一日に二十二人の通行者を咬傷したことがあつたさうな

◉名譽の義勇兵 仙臺市外枝野村元海軍水兵佐藤橘治は日露戰役に殊勳功績後直ちに行衛不明となつたもので遺族は十餘年間搜査中此程英國から村役場に死亡の通知狀が來た夫れは橘治さんが英國の義勇兵となり此度の歐洲戰に目覺しき戰をなし名譽の最後を遂げたから英國政府から其の勳功に對し二等勳章に一萬五千圓の金を添へ遺族に贈るとのことで家人は嬉しいやら悲しいやら

◉葬式の人斬 熊本縣上益城郡御船町浪床賀客（三二）は九日親戚の葬式の爲め白旗村に行つて酒の上から伊藤田金三郎と從兄の浪床德藏（二六）に庖丁で斬りつけて重傷を負はせた

明君道中記

第二百七 居 田邊南龍口演

治兵衞夫婦は其處へ出て兩手を挨へ

治『恐れながら申上げます、今まで德之助を殺そうと思ひましたが、考へて見ますれば何事も因緣でございます、御理解の通り德之助を殺したからとて惣七が生て返る譯でもございません、夫婦共に思ひ詰めました故宜しくお願ひ申します

忠『イヤそれでこそ誠の人、此の上は死した惣七の菩提を弔つて遣はせ、それについて此の忠太夫が媒妁をいたすが其方の許へ養子を迎へんか 治『養子になる者がござりますれば結構で 忠『他でもない此德右衞門の倅德之助を養子といたせ

治『ヘイ 忠『コレ德右衞門先刻其方の申した言葉に倅德之助を充分なる所刑につけてくれと申したが所刑になつたと思つて德之助を治兵衞方へ遣はしたら宜しからう左樣いたさば其怨みも消ね治兵衞とは親戚となつて仲睦じくなるであらう 父『左樣なれば双方とも結構なこと、私も一人息子ではございますが治兵衞の方なら好んで遣はし度ございます

忠『然らば治兵衞今日より德之助を申受けて我子といたして養育いたせ 治『有難く存じまする』双方御禮を申上げて那奉行役宅を引取りましたが、德右衞門は我家へ歸つて德之助に申聞ける、德之助も悧發な者故承知をして治兵衞方へ貰はれ兩親に能く仕へて居りまする、德右衞門は心淋しく思つたが是とてもせめては德之助の存命をして居るだけを喜んで居りまする、最も德之助を遣はします時に金子五十兩を贈り是は持參金といふのでは無い惣七が弔ひ料であるといふのでありますから、治兵衞も此を受納めて置ました。今日では親類となつたのであるから互ひに行き通ひをして居ります。スルと或一日名主德右衞門方へ一人の旅侍が參りまして

侍『御免下さい ○『ハイ 侍『拙者は久留米浪人吉永東馬と申す者、武藝修行の爲諸國を遍歷いたす者、當所へかゝり宿を失つて難儀いたす者、大家とお見受け申し一夜の宿を御無心申す、宜しく御主人へ取次を願ひます ○『只今申し開けますから少々お控へなすつて』取次だものか德『是れはくお武家樣には能うこそお出なされた、田舍のことでござりますから上げます物も別段ございませんが、それを御承知なら悠然御逗留なさいまし 東『洵に情けある其のお言葉有難く存じまする』其の夜厄介になりまする、德右衞門は風呂を焚せて湯に入れ酒肴を出して馳走などをいたしまする、東馬は至つて如才ない男であるから是まで國々を廻りました話などをいたし其の夜は寢てしまひ翌日は雨が降つて居りまする故 德『お武家樣此の雨では御出立は出來ますまい天氣になるまで泊つてお在なさい 東『それではお言葉に甘へて御厄介になりませう』其の日は逗留をする、未だ道が惡いからといふので二三日逗留をして居りましたが洵に話が面白い又碁なぞを打つて相手をする德右衞門も此を引止めて遂に十四五日も居りまする樣な譯、今日も又相變らず二人して碁を圍んで居る處へ參りましたのは彼の治兵衞 治『ハイ今日は 德『オヤ治兵衞さんお出なさい、德之助は柔順くして居りますか、惡さをしたら遠慮なく小言を云つて下さい、私共へ遠慮をしては困ります 治『決して小言どころではございません洵に能く働いてくれます 德『然うですか 治『就て德右衞門殿少々お話し申したいことがあつて參りましたのですが、鳥渡次ぎへお顔を貸して下さい』と次ぎの室へ德右衞門を誘ひました。

衞生全乳 京城若草町 荒井牛乳牧塲部 電話龍山一〇〇一七三一

成功成金たれ
成功者成金となるには藥化學を研究し然して藥劑師となるが第一の近道だ通學せず自宅で藥學の知識を得て藥劑師となるには東京藥學校教授の講述せる東京藥學講義録を讀むに限る、今や藥劑師の需要益々多大にして小は藥店藥局より各病院製藥會社工業家鑛山家大商店に及び現今五萬人の不足を來せり、本會卒業者にして年々多數藥劑師となり續々成功者を出せり。出世を急ぐ者富豪たらんとする諸君は速に入會せよ講義録見本及規則書は東京神田三崎町三一東京藥學會へ申込次第無料進呈す全會費僅に五圓也

七月十七日 火曜 九紫 五月廿九日 庚申 本命七赤 西 滿 先負

▲七赤 驕奢手袋の事有日新事見合南方は吉暗劍西▲八白 大利の日轉居入學旅行名弘求職縁談探鑛婚禮土工請負等皆吉▲九紫 妊娠のたらぬ事有日新事手控南方は吉向爭を防がるべし▲一白 理想に叶日轉居開業造船名弘求職縁談婚禮造洋出漁等萬吉▲二黑 慈善心の起る日轉居旅行入門名弘求職婚禮藥乘非開業等萬吉▲三碧 一寸驚嘆の事有日新事手控西は吉約束に用心せらるべし▲四綠 不進不退の日なれども新事控目の方吉病藥は妨なし▲五黄 藥達の日轉居開業旅行名弘求職婚姻大なる金錢を計る等萬吉▲六白 快活なる日轉居求職出漁金談探鑛移轉製絲藥等萬吉

京城府明治町二ノ三二（元實業俱樂部跡） 花柳病 皮膚病 須古醫院 電話二一〇二番

岩崎大海堂セメン藥菓子
主治効能 蛔虫諸症。疳の蟲蟲熱夜なきの蟲。乳あまし蟲腹いたみ。疝熱の蟲蟲胸あしく。勞熱の蟲蟲せき。驚風の蟲
▲近來粗惡なるにせもの續出す鳥居の商標と岩崎大海堂に御注意を乞ふ
▲卄錢のは卅二錢分入りで函入で體裁よく常用と物進に妙です
美味なる 虫下し最良藥 さんとにねくわー 登錄商標 珊瑚篤尼湼菓子 本舖 大阪天王寺鳥居前角 岩崎大海堂 ▲內外藥店にあり

▲美味なる▼ 虫下し最良藥 定價五錢●十錢●卄錢●五十錢

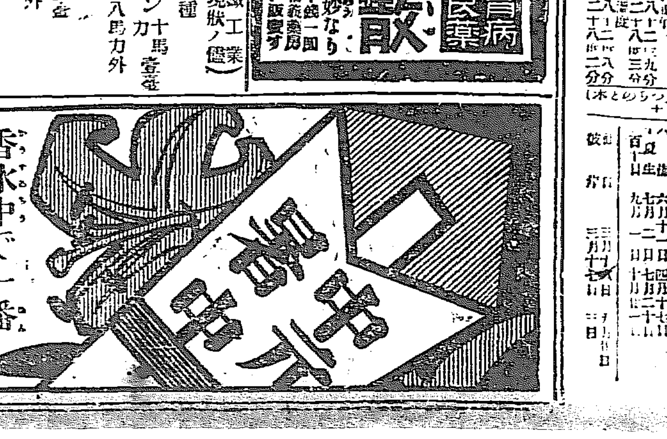
繭絲委託問屋 豊橋市札木町 ㊀豊橋繭絲合資會社 電略（一〇）

仁川濱町春陽館迄御來車を乞ふ 春陽館內 橘 賓

賣却品（鑛工業現狀ノ儘）
溶鑛爐 經四尺 高十五尺外各種
スチームエンジン 十馬力 壹臺
吸入瓦斯發動機 八馬力外
旋盤 七、八、十尺各
ジカルバン 五尺外
十噸横起重機 壹臺
ボールバン 各種
煙突 徑壹尺高二十尺 一個
工塲建坪 約貳百坪
其他鑄工鐵工附屬品及諸雜品共 總金額約壹萬圓內外
一現在使用ノ儘賣却ス
一希望者ハ入札保證金トシテ入札價格ノ十分ノ一納入スベシ（落札者ハ右金員ヲ以テ契約保證金ニ充當ス）
一下見 七月十六日十七日兩日間トス
一入札時日 七月十八日午前十一時
一入札開札ス
一豫算額以上最高入札者ハ直ニ契約締結ヲ三日間以內ニ於テ現金引換トス
一現品一覽希望者ハ

胃病良藥 太田胃散
○飲過ぎ食過ぎに妙なり
藥價十錢廿錢卅錢五十錢一圓
本舖東京日本橋 太田信義藥房
▲全國到る處の藥店に販賣す

豫報 ▲京城溫度 七月十五日正午 前日最高 最低



原料香木 オリヂナル
宮內省御買上品
香水中で一番 凉しい 淸らかな いゝ匂ひの
オリヂナルに限ります
頂いても 贈つても 何より重寶
儀物模造品現はる御注意を乞ふ
本舗東京 安藤井筒堂
代理店大阪 藤森源之助

梅毒有無診斷液　ルエチン

梅毒は醫師の充分なる治療を受くれば完全に全治す、治療せざれば幾十年にても潛伏して身体の衰弱せる時に腦神經、內臟眼球、骨等總ての臟器に種々の病症となりて現るゝものなり……其外部へ現れしものは治療に便なれども潛伏、遺傳、其他內臟に病勢の進みしものは外觀上診斷困難なる爲適當なる時期を失し恐るべき結果を見る事あり、されば其原因の新古乃至は遺傳、潛伏の何を問はれず梅毒の疑を有する者は先づ醫師に就て本ルエチンの注射を試みられよ其有無直に判明し療法は速に解決すべし……本品は從來唯一の梅毒診斷法たりしワツセルマン氏の反應より遙に鋭敏確實且つ簡易なる注射を以て殆ど百％に陽性を現す理想的梅毒診斷液なり

說明書あり申込第次送呈す

發賣元　東京京橋區南傳馬町三　星製藥株式會社
關西代理店　大阪市東區道修町二　小西喜兵衞

在庫豐富　迅速確實

英國サミールオスボン製鋼會社關東代理店
英國アーサーバルフオーア製鋼會社特約店
東京市神田區東紺屋町一番地
井口鋼鐵商店
電話神田四〇九、六九七番　振替口座東京一四三八二番

歐米鋼鐵、純國產鋼各種

夏の下痢腹痛は黴菌性の物多し

故に柏村博士の殺菌力あるヘルプが一番安全！

夏季の下痢腹痛は消化と黴菌性作用に起因する者多し、故に止瀉藥は殺菌力ある藥劑ならざる可からず

◎然るに從來の賣藥は單純なる止瀉作用にして消化と殺菌の用意ある物なし

下痢は止れども腸胃を害ふとは單純なる收斂劑、又は阿片などにて固めたる結果の受たる批難也

柏村博士創製の**ヘルプ**は是等の缺點を考慮配劑せる最も理想の腸胃藥也

本劑の眞價認められ舊式の下痢止め劑は一掃されたり

定價　二十錢　三十錢
旅行用ポケット型　五十錢
徳用　壹圓　貳圓五十錢

效能

●食過●食傷●消化不良●時候あたり●水あたり●寢冷●冷腹等腸胃の故障より起る▲下痢腹痛▲吐瀉▲澁腹▲腹下り斷を止め▲腸加答兒▲胃加答兒を治す

ヘルプの特長

ヘルプは宮內省侍醫柏村博士の創製に係る腸胃藥にして、健胃、整腸、收斂、鎭痛、消化、殺菌、防腐の諸作用を具備する理想の良劑なれば、右の諸症に卓効あるは勿論常に少量を用ゆれば腸胃を健全ならしむ故に惡疫流行の時又は風土病ある地域に旅行する際等は必ず常備して腸胃の健康を擁護せらるべく、又家庭の常備藥として必ず缺くべからざる物なり

且ヘルプは從來の腸胃藥が糊などにて固められ却つて腸胃を害する事あるに鑑み、是を最新式の錠劑となしたれば、溶解容易何等腸胃を害する恐れなく其奏効又迅速なり

本舖　東京市日本橋區本銀町三丁目　津村敬天堂　振替口座東京八六四番

■取次は全國到る處の藥店にあり品切の時は本舖へ■

サッパリした氣持はお身體から！

婦人良藥**中將湯**を召す方の

無代進呈　婦人衞生手引（天本醫學士著）
（但し二錢切手封入御申込次第）

京城日報 第三版
七月十六日 (夕刊と合せて八頁)
本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢(前金に限る)
發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目
發行兼編輯人 奥田直藏 印刷人 小川三之介

[illegible]投業の問題なり、宜しく此機會を利して國家の施設たらしむる[illegible]して大阪の名折れにあらずや[illegible]
▲物價騰貴のため下級[illegible]
[illegible]と決せるなど[illegible]に注意を拂[illegible]喜ぶ宜し。
[illegible]の問題としてのこの[illegible]とする傾向あるは[illegible]
[illegible]はれて洗濯散髪も出來ず衣類の如きは裸で暮すの外なし、罷工に雷同するも無理ならず、今後同盟休業など[illegible]
[illegible]の來らんとする徴候あり、彼の兵器會社が注文斷れとなり聯合國の統[illegible]を引受くるとか兵器民營とか云へ[illegible]
[illegible]る時か多數の[illegible]事の出來ざるは[illegible]より求心するの必要あり。
▲米價の騰貴は[illegible]

支那統一の前途(三)

京城日報

君主政治の復興難

共和政治、既に支那民族を統一するに足らず。然らば則ち立憲君主政治果して能く支那民族を統一するに足る乎。曰く、必ずしも然らざる也。今日に當り、其德無く、其力無くして、漫然帝冠を戴き、四億民衆の上に君臨せんと欲するものあらん乎、支那は唯だ益々混沌に陷るのみ。袁世凱の轍に倣ひて、帝冠を僭する奸雄起るに於ては、支那は忽ち春秋戰國時代を演じ、三國志時代を演じ、五胡十六國時代を演じ、五代史時代を演じ、隨て虎視眈々たる列強其隙に乘じ、瓜分の禍是より生ずるや、瞭々として火を睹るが如し。

姓嬴なるものあり。姓劉なるものあり。姓司馬なるものあり。姓李、姓趙なるものあり。姓奇渥温、姓朱、姓愛親覺羅なるものあり。彼等は嘗て君主として之に服從し、主權者として之を仰げり。其之に服從し、之を仰げるは、之に由りて其の生命を保ち、其の財產を保つことを得たれば也。苟も其の生命、財產を保つを得ば、其の君主の嬴氏たる乎、劉氏たる乎、將た其夏人たる乎其の夷狄たる乎は、固より其問ふ所もあらず。井を鑿ちて飲み、田を耕して食す。帝力我に於て何かあらんとは、支那人の個人的理想を赤裸々に表白したるもの也。

我を虐するものは、仇、我を撫するものは后。彼等は唯だ個人本位を主とし、利己本位を主とす。故に彼等の憂とする所は、干涉主義也。彼等の恐るゝ所は、收斂主義也。彼等の喜ぶ所は不干涉主義也、放任主義也。彼等は堯舜の無爲政治を喜ぶもの也。漢高の法三章主義を喜ぶもの也。文法繁密、重斂苛征は、彼等に取りて大禁物也。書に云く、予れ兆民に臨む、懍乎たること、朽索の六馬を馭するが如しと。堯舜の無爲主義を執りしは、善く支那民衆の性格を了解せしものにして、支那人が今に至るまで唐虞三代の治を以て理想的政治と爲すものは、之が爲め也。彼等は、唯だ個人あるを知るのみ。個人の利益を害し、生命財產を害せざるに於ては、其の君主の嬴たり、劉たるを問はざる也。其の國土の如何なる邦國に屬するも、必ずしも其問ふ所にあらず。金、元、清は、彼等の指して戎狄と爲す所のもの。而して彼等の多數は、甘んじて之を主權者に仰ぎ、其の政治に服したるにあらずや。現に革命以來、彼等民人は、爭ひて外人勢力の保護に賴り、一に其の生命財產を保つに汲々たる實際にあらずや。

清の倒れたるは、元の倒れたるが如く、主權者たり、君主たるの力を失ひたるを以て倒れたるのみ。必ずしも共和民主主義の立憲君主主義に打勝ちたるが爲にあらず。故に共和政治、革命の進行中、忽ち宣統帝の復辟と爲るあるもの、亦以て國民思想の浮泛常なきを證するに足るべきにあらずや。然れども、其力無くして復辟を行ふとも民心服せず、支那の統一は到底望む可からず。張勳の擧は無謀のみ。其の失敗は必至の勢のみ。當然の結果のみ。

支那商工業の變遷(三)

今關天彭

二〇、清代の工業(其一)

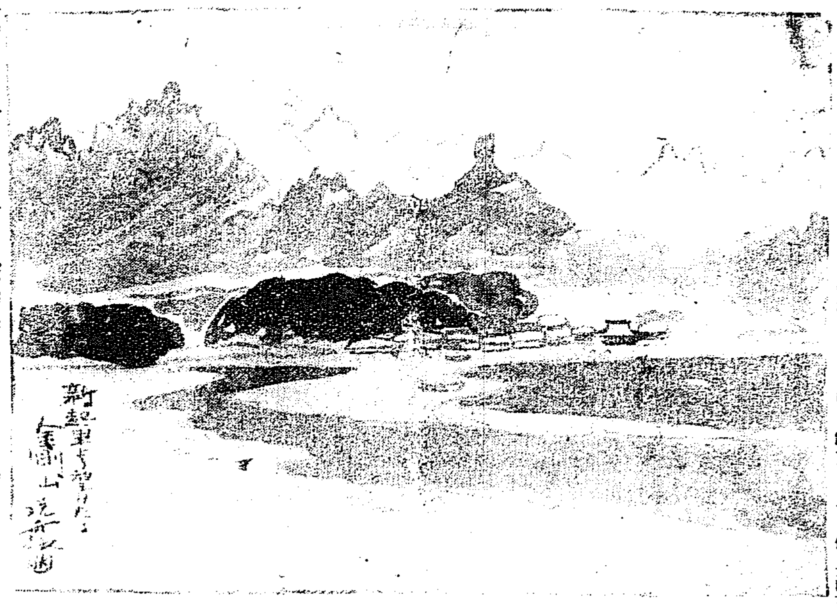
清は明の舊都に都して、その宮殿に修理を加へたので、大建築も起らぬが、天壇や太廟の建築は注目に値する。天壇は正陽門外にあつて、形の圓いのは天に象り、南に向つて三層である。その內外には、圜むに壝即ち低い垣を以てする。內壝の形は圓く、周圍一百六丈四尺、門が四つある。外壝は形が四角で、周圍二百十丈一尺、門が四つある。また太廟は、前殿十一間、正中の三間は梁棟に金飾がある、東廡十五間、配饗の諸王位を列ね、西廡十五間、配饗の功臣位を列ね、中殿九間、その東廡・西廡が各五間、それに祭器を藏し、後殿は中殿の制の如くである。

庭園建築も舊來と大差ない。北京には庭園が四ある。暢春園は康熙帝の建設にかゝり、西直門外にあつて周圍十餘里、圓明園は暢春園の北にあつて、同じく康熙帝の建設にかゝり、雍正帝の親王たる時に賜つたもの、咸豐十年に英佛同盟軍に燒かれたが、光緒時代に、その遺跡に就いて頤和園を建築し、西太后の遊幸する所となつて居たが、これは北清事變の時に燒かれた。靜明園は圓明園の西、玉泉山の麓にあつて、康熙帝の建設にかゝり、靜宜園は圓明園の西なる香山にある、即ち香山寺の故址である。これも同じく康熙帝の建築にかゝる。この外熱河に避暑山莊がある、康熙帝の建築するところで、三十六景の勝景がある。

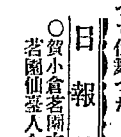
清初の製造界は明時代に減せぬ有樣であつた。縫箔の如きも、文武官の朝服は、多く明時代と當ならぬ。即ち一品は鶴、二品は錦雞、三品は孔雀、四品は雁、五品は白鷴、六品は鷺鷥、七品は鸂鶒、八品は鵪鶉、九品は練雀。武官の朝服は、一品は麒麟、二品は獅子、三品は豹、四品は虎、五品は熊、六七品は彪、八品は犀牛、九品は海馬で、而して袍は文武官を通じて蟒を縫繡した。即ち縫箔から見ても、清初の工業の甚だ衰へぬと云ふことが出來るが、しかもその極めて注意して作つたものは度量衡の製造であつた。度量衡の製造は康熙帝の注意する所となり、自ら考定して定式とし、度は工部の營造尺を以て尺寸の準を定め、量は營造尺の寸法を以て升斗斛の容積の準を定め、衡も營造尺の寸法を以て法馬を定め、秤・平の輕重の準とした。また西洋文明に注意し、湯若望・南懷仁等を用ひ、この二人は前後して欽天監に在官した。南懷仁が作つた黃道經緯儀、赤道經緯儀、地平儀、地平緯儀、紀限儀、天體儀等は今尚觀象臺に置いてある。

夏の金剛山

丸山晩霞



(十三)新趣里より望みたる金剛山――金剛山を離して、海を前にして、萬二千の金剛連峰の壯觀を味ふべく、長箭灣外を迪つて新趣里に出た。こゝはよく纏つた景色で、他日大に大作に成すべくこの日はスケツチで過ぎた。波に洗ひ除くされた叢森の巖石の諸峯と、濃藍暗き中系の森と節系の白沙、青碧の海の色と色彩の調和がよかつた。



誰(13)

布施生譯

『でも鈴富君は賭事をするぢやありませんか』と鎌をかけてみると、『骨牌遊戲はするけれど賭博はしませんよ、勝負はどうでも可いんですもの、負けても勝つてもそりや正念かないの、宛然子供よ、あんなに物事に身が入らないのは私何か落膽した事があるんぢや無いかと思ふの。私どうもあの方には何か秘密があるやうに思はれてよ。何か甚い目に遭つてそれで彼樣になつたんぢや無いでしやうか』『貴孃は鈴富君からあの人の昔噺を聞きませんか』『あの方が如何して私に自分の昔噺なんか聞かせるものですか。いゝわ眞正、私鈴富樣には始終氣なくされ通しにされてるんだわ、でも私あの方が如何なの。あの方が監獄へ往くなら私も往く』『そんな事しちや大變だ、貴孃も監獄になりますよ』『可いの、なつても可いの、あの方を一人監獄へやつては置けない、私も往く〳〵』『いけませんよ』鈴富君の手紙には何とありますか、それを讀んで當分引込んでゐるやうにと書いてあるぢやありませんか、乾度鈴富君には何か計劃があるんです、其計劃を貴方が打消して了つたら仕方がない、ね、惡い事は云ひませんから』美那子は少し靜まつた、是非之は思返して黙つて隱れ說伏せられて『ぢやあ私隱れてゐる、私今から直に家を畳みますからね』

そう言つて次の室へ退いたが、軈て簞笥や押入の物を大風呂敷に包込む音がして、暫くすると復客室へ出て來た彼女の姿はもう平生の樣子に復つてゐる、『さあ、もう荷拵らへは直に濟みますが、私一體何處へ往つたものでしやう』阪は少し考へる風をして『一個所心當りがありますがね』『何處でも可いわ、後生だから御紹介して下さいな、私二三週隱れるばかりだから』阪は心得顏に手紙を走書して大佛屋旅館御中と上書した、それを美那子に渡して『馬車は序に私が呼んであげませう』と約束して暇乞したが、戶外へ出ると丁度幸ひ空馬車が一輛客待してゐる、阪はそれを呼んで『あの家から今に女のお客樣が一人、荷物を提げて出てゐらつしやるから直に載せてあげろ、一つ賴んでおくが、其お客樣が大佛屋と仰有つたら大急ぎで其まゝ其方へ駈出すんだ、もし外の處へと云つたら馬の口輪を拔直す擧動をして馬の頭の方へ廻つてくれ、可いか、賴んだよ』そう云つて陰に身を潛めながら樣子を覗つてゐると、お客樣を載せるなり馬車は一目散に驅出して往つて仕舞つた。

日報詞壇

○賀小倉茗園古稀壽 茗園仙臺人今茲恰當金婚式　江原 如水
太白山高映玉川。仙臺雙鶴影翩躚。茗園風有清風滿。况見瑜星照壽筵。
評曰 太白、瑜星、照應見妙。玉川、清風不離茗字。又推巧

帝國大學講師 文學士 常盤大定先生新著
釋迦牟尼傳
古來佛傳少からずされど三千年の古佛にしてしかも今現に在すが如く[illegible]
京城 [illegible] 大阪屋號

代理店長を採用
帝國公債、勸業債券簡易販賣の代理店主を求む手當及歩合多額を給し且つ永久雇傭す
希望者は履歷書送付あれ規則書呈
東京市神田區錦町一ノ十
第一興業株式會社

農商務技師 理學博士 三宅恒方先生著
昆蟲學汎論
菊判洋裝 上卷 定價金參圓五拾錢
發行 裳華房 大阪屋號

新刊 上卷出來
[illegible]
易學講究會
周易講義
帝國漢文學會

理學博士 寺尾壽 早稻田大學教授 藤野了祐 兩先生共著
理論應用 算術講義
菊判布裝七四〇頁 定價二圓六十錢
世界稀有の名著
▲本書は斯界の權威たる寺尾博士と藤野教授とが前後七年の歲月を費し算術の全般に渉りて親切丁寧に講述せられし空前の名著也
東京神田 富山房

法學博士 牧野英一先生著
日本刑法
合本上製 全一册
刑事學叢書 出來す
刑事訴訟法
刑法と社會思潮
行爲の違法
不作爲の違法性
現代の文化と法律
發行所 有斐閣 東京市神田區一ツ橋通町五番地

秋種
京城勸農園 (京城本町三丁目)
○特撰京城白菜 ○特撰開城白菜 ○芝罘白菜 ○直隷白菜
○秋播蔬菜類は總て本場原產地優良種子
定價表進呈

時計卸商
喜多金光堂
京城黃金町二丁目

田山花袋著
最新刊
柳暗花明
廣川臨風著

好評新刊
歷史小說の大家
舞殿
平和出版社

紛糾せる支那政局

▲黎元洪氏の歸邸

日本公使館に避難中なりし黎元洪氏は十四日午後四時自邸に歸れり(北京特電)

▲段祺瑞林公使訪問

帝國從來の好意を深謝す

段祺瑞氏は十四日午後三時林公使を公使館に訪問し挨拶を述べたる上同公使館に避難中なる黎元洪氏と會見打合せをなし再び林公使に對し帝國從來の好意を深謝したる上東廠胡同の自邸に引揚げたり(北京特電)

▲黎元洪氏と將來の進退

黎元洪氏は別電の如く十四日日本公使館より自邸に歸還せるも恐らく再び總統の任に就かざるべく尤も段祺瑞氏國務總理として就任する以上は約法に依り其の任に就くべしとも推せらる(北京特電)

▲張勳引渡交渉拒絶

段祺瑞氏は十四日更に正式の手續を以て和蘭公使に張勳氏引渡しを交渉したるが公使は之を拒絶せり(北京特電)

□帝國議會閉院式

既電の如く第三十九回帝國議會は十四日を以て終了したるに就き十五日貴族院に於て閉院式擧行寺内首相は左の勅語を奉讀せり(東京特電)

勅語

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕本日ヲ以テ帝國議會ノ閉會ヲ命シ併セテ卿等ノ精勵克ク協贊ノ任ヲ竭セルノ勞ヲ嘉賞ス

御名御璽

大正六年七月十五日

▲定武軍武裝解除

定武軍は武裝解除の上十三日夜より山東省濟南及び袞州に向け出發しつゝあり又張勳氏の部下にして徐州又は懷州に駐屯しつゝある兵士は之を馮國璋倪嗣沖の兩氏の軍隊に編入し其の支配下に屬せしむることゝせり(北京特電)

◎鮮滿鐵道統一内容

十四日樞密院委員會審議終了

十四日樞密院委員會に於ける鮮滿鐵道統一に關する案件に就ての審議は同日終了したるを以て引續き院議に附せらる可きが聞く所に依れば右案件は數項に分かれ居り其の内容は左の如し(東京特電)

一、勅令案

朝鮮鐵道の經營は便宜南滿洲鐵道會社に委任することを得

一、官制改正『其の一』朝鮮總督府官制改正

從來總督府外に在る鐵道局を廢止し新に同府内に一局を設け之を鐵道局と稱し局長(高等官二等)一名、參事數名を置き委任經理の監督を爲さしむ

一、官制改正『其の二』關東都督府官制改正

南滿洲鐵道を都督府の管掌とし關東都督は南滿洲鐵道會社總裁を兼ぬることを得(此の後段は最も樞密院にて議論のある所にして新制度にては關東都督には事實上滿鐵總裁を兼ねしむるも官制上の形式は兼ぬることを得とは爲しあらず)

一、官制改正『其の三』鐵道院官制改正

從來鐵道院にて南滿洲鐵道會社に關する事務を統理しつゝありしを廢止する爲め鐵道院官制を改正し右に關する條項を削除す右の結果南滿洲鐵道は朝鮮に支社を設け現任理事中一名を同社詰と爲し鮮鐵經營を司らしむる筈にて現在朝鮮總督府鐵道局勤務の吏員は全部其儘(現在の儘總督府吏員の身分を保留す)滿鐵に引繼がるゝものとす尚新制度の下に將來中村滿鐵總裁が關東都督たるに至るが如きことあらば勅命に依り現役陸軍中將に復歸せしむるに至るべしと傳へらる

◎首相邸晩餐會

寺内首相は十五日午後七時より官邸に犬養總理以下國民黨所屬代議士を招待し議會開會中の慰勞晩餐會を催せり(東京特電)

◎憲政代議士會

憲政會にては十五日午後三時より本部樓上に代議士會を開き加藤總裁以下幹部代議士九十餘名出席先づ今期議會報告起草委員を選擧したる後地方遊說政務調査に關する諸件を協議し終て加藤總裁の演說あり六時より築地精養軒の懇親會に臨めり(東京特電)

◎寺内首相答辯

外交調査會設置に關する質問に對し(夕刊より續く)

臨時外交調査委員會設立の趣旨及び目的は概ね上述の如し而して該委員會は單に調査審議の機關たるに拘らず上諭文中には特に應機啓沃の任に當らしむる云々とあるを以て其の間重大の矛盾ありと思惟するものあり然れども啓沃の任と考査審議とは決して相牴觸することとなし凡そ啓沃の文字は其の意義甚重大なりと雖從來其の用例なきにあらず現に樞密院官制の上諭文中にも啓沃の文字あり而して臨時外交調査委員會官制第一條及び第四條の規定に於て考査審議すと云ひ敷奏すと云ふは恰も樞密院官制第六條と其の揆を一にするものなり蓋該委員會を側近に特設して啓沃の任に當らしめらるゝ所以は時局に關し籌畫すべき要項は 至尊に因るもの多く時に 至尊の臨御を仰ぎ奉ることあるべく從て普通の調査機關と自から其の體制を異にし特に 天皇に直隸する機關たらしめられたるものなり而も該委員會は國務執行の機關に非ずして獻替啓沃を任とすること恰も樞密院と異らず但樞密院は憲法上常置の機關にして專ら諮詢に應じ審議を遂げ意見を上奏するものたり而して皇室典範に規定せる非常特別の場合の外は必ず諮詢を待て始めて開議すべきものにして從て其の審議事項は諮詢案に依ることを必要とす然るに外交調査委員會は之に反し中外の形勢に鑑みて制定せられたる臨時特設の機關にして其の任は應機啓沃に在るが故に諮問を待たず又諮詢案に依らず自ら進んで審議を行ひ其の決する所を以て獻替するものなり而して

▲審議の範圍 は樞密院の如く一般の國務に涉らずして外交の一事に限り其の審議事項の遂行に際し當に樞密院に諮詢せらるべきものは内閣より諮詢の奏請を爲すべきは論を俟たざるなり

抑々帝國に於ける外交上の方針は既に早く決定し政府は之に基て專ら施措する所ありと雖宇内の情勢變轉極りなきの間に處し應機其の宜を得るは洵に緊要の事たり殊に曠古未曾有の變局に對しては固より國家の常經のみに倚ること能はず時に臨み須く變通の道を講ずべきなり豈外交上の方針既に定まれるの故を以て國論の統一外交政策の審議を必要ならずと爲すべけむや

又外交調査委員會と内閣との權限につき責任の問題を云々するものあり然れども該委員會は外交に關する啓沃の機關にして考査審議の結果を以て敷奏するに止まり其の施行の如何は依然として國務大臣の職責に屬す兩者職務權限の區別は最明瞭にして毫も錯綜する所なし從て國務大臣輔弼の

▲責任を紛更 するが如き虞あるなし凡そ憲法第五十五條の規定は國務大臣の輔弼に待つべき旨を定めたりと雖も而も憲法上國務大臣以外に啓沃の機關其の他調査機關を設置することを許さゞるの義に非ざるなり又該委員會は内閣總理大臣を以て總裁と爲し外務大臣其の他の國務大臣を特に委員中に加へ以て内閣との聯繫を保持し之が運用の圓滑を期したり而して該委員會の決議と委員の列に在らざる閣員の意見と相互紛錯するが如く誤解するものあると雖既に該委員會と内閣との職責は其の畛域劃然として存在し毫も相掣肘せらるゝことあるべきの理なし況んや事に當る者は悉く是れ老練達識の士にして而も優渥なる聖旨を拜し責任の甚重きを自認する必ず

▲圓滿に進行 して之が爲に紛議を生ずるが如き虞なきは斷言して憚らざる所なり

臨時外交調査委員會審議の事項は固より官制の昭示するが如く時局に關する外交上の案件に他ならず今外交と云ふも其の範圍は甚廣汎なり且又外交を審議するに付勢ひ之れに關聯して國防其の他の國務に相涉ることなきを保せず之を以て該委員會に於ては開會の始に當り既に内則を定めて遵由すべき規準を設けたりと雖本會に於て審議すべき事項は事概ね機祕に屬し今茲に詳說すること能はざるを遺憾とす

◎商船と朝鮮航路

大阪商船會社の朝鮮航路は目下の所朝鮮各主要港内地阪神間を連絡する最も樞要の線なるが近日其の廢航若くば減航說を傳へらるゝあり右に付消息通の談を聞くに商船が如何に一般海運界殷盛にて朝鮮に配船するより有利の航路ありとするも今直ちに命令航路以外の自由航路を全部廢航すべしとは信ぜられず唯商船にては船腹を經濟的に使用するため目下の如く船貨の有無に拘らず其の配船をなし各港に寄港せしむる事は中止し荷物の堆積あれば十分の配船をなし荷物なければ其の定期の寄港を中止せんとするの議はあり之れ現下の狀態より見れば止むを得ざる所なるべきかと

◎家蠶絲生産高

大正五年の家蠶製絲戸數は工場組織に依るもの二戸家内工場として行ふもの十萬三千四百六十一戸合計十萬三千四百六十三戸にして其產額は改良法に依りて生產せるもの四千七百二十一貫在來法に依りて生產せるもの一萬八千九百八十六貫合計二萬三千七百七貫を算せり之を前年に比すれば戸數に於て一千五十九戸(一分)產絲額に於て二百九貫(九厘)の增加とす

▲各道生産狀況 家蠶製絲は各道共に之を行はざるはなしと雖も就中慶尚北道及び平安南道に於て最も多し即ち前者は紬の主產地にして約四千七百貫を後者は紬及び元絲の主產地にして約三千九百貫を生產せり之れに次ぎて多きは京畿道の約二千七百貫、平安北道及び江原道の二千百餘貫にして全羅南道、黃海道及び咸鏡南道の約一千五百貫、忠淸南道の一千二百餘貫、慶尚南道の一千餘貫之に順次し其の最も少きは咸鏡北道の二百餘貫とす

▲蠶系製造奬勵 從來家蠶製絲は概ね養蠶家の手に依つて行はれ其の生絲は朝鮮内需要の綿織物、紬、紬子又は漁網等の原料に供するの習慣なりしも幼稚なる技術を以て優良繭に加工し生絲と爲すも製品の價格低廉にして收支償はざるが故に先年來優良繭は可成販賣せしめて之を内地に移出し一般養蠶家に對しては中繭以下の製絲を奬勵したるが爲め生絲の生產額は繭產額の增加せる割合に多からずと雖も不良繭を原料とする生絲の產出漸く多きを見るに至れるは注目に値すべき現象にして蠶業經濟上欣ぶべきことに屬す向後益々此の趨勢を發達せしむると共に一面工場組織に依る輸出向生絲の生產を奬めざるべからず

▲生産累年比較 今家蠶絲生產累年比較を示せば左の如し

年次	製絲戸數	產絲數
元年	九二、一七五	一七、五六〇
二年	一〇八、六六六	二〇、八九三
三年	一〇〇、五三三	二一、四五七
四年	一〇二、四〇四	二二、四九八
五年	一〇三、四六三	二三、七〇七

◎京仁最近穀價

客月中京城仁川に於ける穀類の平均價格左の如し

▲京城の部 粳上九圓九十一錢中八圓五十九錢下七圓三十五錢、玄米上十七圓中十六圓五十錢下十六圓、精米上二十一圓十六錢中十九圓八十錢下十八圓五十錢、大豆上十圓六十六錢中九圓六十錢下八圓八十三錢、大麥上六圓中五圓下四圓五十錢、小麥上十圓六十六錢中十圓十六錢下九圓六十六錢

▲仁川の部 玄米上十八圓三十錢中十八圓下十七圓六十錢、精米上二十二圓三錢中二十一圓五十三錢下二十一圓三錢、大豆上九圓九十六錢中九圓五十一錢下九圓十五錢

而して四月以來奔騰に奔騰を重ねたる穀價は今尚一般に高價を示しつゝある狀態なり之れ内地相場の影響を受けたるに因るは勿論なるも亦朝鮮各地に於ける旱害が米麥作の不作を豫想せしめたると河水缺乏等に因り奧地よりの出廻減少したるも亦一因なりと認めらる尚京城穀價の仁川のそれに比して稍々低廉なるは仁川に於ける調査の多くは品質優良なる輸移出品にして其相場は直接内地相場の影響を受くる事大なるも京城に於ける調査は專ら朝鮮人向の品質下級なるもの多く爲めに直接内地相場の影響を受くる事仁川の如くならざる結果なりと

◎京畿造林事業

京畿道に於て京城附近に實行せる國費造林事業は大正五六年度の經費四千四百九十九圓を以て砂防新植十三萬九千四百三十本(施業面積百三町四反三畝二十二歩)普通新植百五十一萬八千四百三十本(施業面積二百五十一町一反二畝九歩)砂防補植十四萬一千百五十六本(施業面積百十八町七反二畝二十四歩)普通新植二十三萬五百十五本(施業面積三百四十七町八反九畝六分)計二百二十萬九千二百七十一本(施業面積八百二十一町八畝一歩)の植栽を行ひたる外赤松天然林の手入として三萬五千百六十七本の除伐を爲したり

◎郵規改正と注意

本月十五日より實施せらるゝ郵便規則第十五條改正の結果從來營業者より其の營業に關し發する報知書、送狀、契約申込書、其他計算書、領收書に無封にて郵便に差出す場合には其の料金重量三十匁又は其端數每に金二錢の割合を以て取扱ひたる者なるも今後は重量十匁又は其端數每に金二錢を增す事となりたるを以て一般營業者は注意ありたしと

◎朝鮮酒製造注意

酒類製造の免許を受けたるものは其の免許指令書に記載しある酒類の種別の外は製造すること能はず若し其の種別以外の酒類を製造するときは無免許酒類製造者として酒税令第三十一條に依り二千圓以下の罰金に處せらるべし從來京城地方を中心として六七月頃より十月頃盛に製造したる彼の過夏酒(再製酒)の如き酒造家は一般に習慣上製造したる所なるも今日に於ては之が免許を受けて製造するにあらざれば即ち違反者として前記の處分を免るべからず然るに現今にても尚從前の如く考へ免許を受けずして之が製造を爲すもの多々ありとのことにて其の筋にては之が取締りに着手し既に違反者を以て擬せられたるもの五六件の多きに達せりと聞けり故に酒類製造者にして法令上不明の點あらば京城府財務係又は京城酒造同業組合創立事務所等に就き充分說明を聽き誤解の爲に違反處分を受くるか如きことなき樣注意を要すと

◎客月釜山出入旅客

客月中に於ける釜山出入旅客總計内地朝出一萬四千四百七十一人入一萬六千九十九人なるが之を各國人別に見る時は内地人出一萬三千八百三十四人入一萬五千二百五十六人朝鮮人出一千百三十六人入六百十一人清國人出百八十五人入百二十二人歐米人出三百十六人入四百十人なり

◎東拓記事訂正

十五日夕刊川上東拓理事談『東拓改正法の通過』と題する記事中將來の投資と滿蒙に於ける優劣以下文章體の二十五行は川上氏の談に非ず東拓が上述の如く拓殖事業を營む事を目的とする會社の矢々よりの口語體が同氏談なり前段の二十五行は口語體文の末段に續くものを誤まつて前に組み込みしものに付茲に訂正す

人事消息

▲芳賀總督府醫院長 十五日夜歸任

▲關野貞氏(工學博士) 十五日朝入京昌德宮へ

▲篠田李王職第一部長▲三田咸北第一部長 十五日入京不知史へ

▲三宅長策氏(辯護士) 十四日夜着京

▲市川第三十九聯隊長 十五日夜着京

▲長谷川作次氏(三井物產社員) 同上

南言北語

夏は暑い霖雨は鬱陶しい位の事は誰でも御存だが昨今の樣に蒸暑くるしく暑くるしくてはやり切れぬ▲アー今日は暑くるしい事は拔にして浴衣がけで行かう暑い時には之に限る▲面白い事の能く飛び出して來るのは何といつても支那だ北京では段、張の兩軍が此の暑いに御苦勞にも鐵火を交へて▲やれ何うだ其れ斯うだとやかましくて暑くるしい事此の上なしだが▲支那も頗と由與の四川省の懋功縣の小金川と云ふ處に何時の間にか皇帝が現はれたと云つても合點が行くまいが同地方は昨今煙草成金が增ゐて上景氣の處に付け込んで住民を煽動したのが妖匪の親分祭都和尚▲まさか花和尚の末孫でもあるまいが强盜追剝を始め土匪を狩り集め▲守備兵を追つ拂つて通治皇帝と名乗り八角稠と云ふ處に宮殿の建築を始めた▲守備兵の大將し年貢を收めしめ命令を發した▲此の又た皇帝に抱へられて開國古仕忠が討伐に行くと直に擒となつた▲前淸の遺老で非常な文學家の大辯宰相兼任軍機大臣となつて居るのは子趙天驥と云ふ頑翁である▲皇帝が勝手に飛び出して來るなどは何うしても支那に限る▲内地では豹が六甲山へ逃げたとか大騷ぎをして居るが▲ヒヤウ〳〵然として行衞の定かならぬが豹の豹たる處だ▲ソレ出たヤレ出たと鐵砲擔いで追ひ廻つた處で見付かるものでもなければ取れるものでもない▲殊に毒殺などは豹の方ではヒヤウ〳〵御免蒙るのだらう▲而して取れるものなら朝鮮に居る豹なんかは疾の昔種切になつて居る筈だ▲豹だつて强盜や追剝の樣に容易に飛び出して來て人を害するものではないからピク〳〵するには及ばぬ

◎滿洲の果樹

現今滿洲に栽培せる果樹は概ね原始的……鷄心(三)牛妨(四)玫瑰香(原名マスカットハンブルヒといふ歐洲種)(五)紫葡萄(一名)(原名ブラタクハン)……(十三)無核葡萄(西藏葡萄)等なり梨は熊岳城の……を以て見る時は滿洲には最有望とす又支那は……の原……は芝罘より海路大連營口を經て滿洲に特に南部地方に輸入せらる蓮花柿……耐へ瘠地にも克く生育す其用途生食用菓子用及び乾果用等なり今後滿洲……の引繼を本月十五日を以て決行すべく夫れ〳〵通牒する處ありしを以て……二百卅餘町歩の減……農民は前途の天候を氣遣ひ又相場は……過すれば尙ほ相當の……を呈するは……至るべく豫想されつゝあり因に六月中の米穀移出高は約三百七十……

本場眞正銘茶直接販賣

一、宇治相場の如何に不拘宇治製本場特製品を以てする事

二、正價を以て親切を旨とし廣告と現品と表裏なき事

三、荷造を嚴にし迅速に貴需に應ずる事

御茶銘並に定價表(各一斤百六十匁に付)

▲玉露之部 一千羽の鶴 金五圓 一亀齢 金三圓 一老松 金二圓 一寒竹 金一圓五十錢 一白梅 金一圓二十錢 一高砂 金九十錢

▲煎茶之部 一富士 金一圓二十錢 一池の尾 金一圓 一大福 金八十錢 一堀井園 金七十錢

一正喜撰 金六十錢 一喜撰 金五十錢 一青柳 金四十錢 一川柳 金三十六錢

▲濃茶之部(此部のみ十匁に付極上げは二割增付) 一初昔 金四十錢 一後昔 金三十錢

▲薄茶之部(極上げ二割增) 一極詰 金三圓

▲折物之部 一上別儀 金二圓 一別儀 金一圓六十錢 一折鷹 金九十錢 一上雁 金七十錢 一雁音 金六拾錢

▲粉茶之部 一玉露粉 金一圓二十錢 一上煎粉 金七十錢 一玉花粉 金七十錢 一煎花粉 金四十錢 一玉頭粉 金三十五錢

小包制限賣販賣規定

大典記念の方法に依り破格の割引をなし、殊に斯茶の愛茶家諸彥の御便宜に供し左記の如く小包目方の最大限一貫六百匁(一留品として)を提供して各郵便局の御便宜に……弊店は厚情に報ゆる爲め完全なる荷造を施したる……を得らるゝを計らんとす

茶銘並に定價表(正味一貫二百匁入箱代共)

▼玉露之部 一老松 金十一圓五十錢 一寒竹 金八圓九十錢 一白梅 金七圓三十錢

▼煎茶之部 一富士 金六圓六十五錢 一池の尾 金五圓七十五錢 一大福 金五圓 一堀井園 金四圓五十錢 一正喜撰 金三圓九十錢

▼粉茶之部 一玉露粉 金七圓三十錢 一玉花粉 金四圓 一折 金……圓……錢

右包制限賣注文の節は小包制限賣に依る茶銘何々小包幾個と御記入の事◎小包料は朝鮮、支那七十錢……

販賣手續

右御注文は總て前金にて御送金の事……

全 本店

山城長池郵便局區内綴喜郡青谷村

堀井園 堀井喜之輔

電話長池十四番 振替大阪七三九九番

資本金壹百萬圓

不動產抵當ニテ長期低利ノ貸出致候

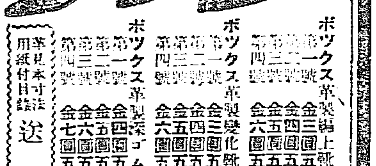
京城 株式會社 漢湖農工銀行

支配人 遠山熙

支店所在地 開城、春川、大田、江景、公州、淸州、忠州、論山、鐵原、烏致院

普通銀行業務は確實親切に御取扱可申候

信用ある東京三金の靴



ボックス革製編上靴 第一號 金三圓五十錢 第二號 金四圓五十錢 第三號 金五圓五十錢 第四號 金六圓五十錢

ボックス革製變化靴 第一號 金三圓五十錢 第二號 金四圓五十錢 第三號 金五圓五十錢 第四號 金六圓五十錢

ボックス革製深ゴム靴 第一號 金四圓五十錢 第二號 金五圓五十錢 第三號 金六圓五十錢 第四號 金七圓五十錢

革見本寸法用紙付目錄 送呈

東京市下谷區…… 三金商等靴店

公債株式現物問屋

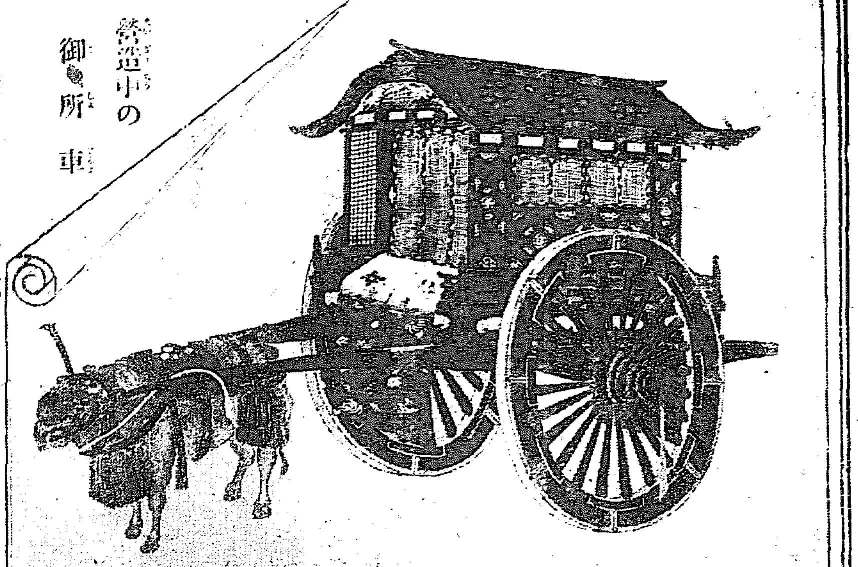
東京株式取引所仲買人

東京市日本橋區坂本町二番地

細野傳次郎商店

電話浪花四〇九番・一六八九番・四六九八番・五二三〇番 電信略號ホソノ

……ものなし葡萄は成績佳良にして目薬の葡萄栽培地の如き前途頗る有望なり滿洲に於る在來葡萄の種類は(一)龍眼(虎眼又は猫眼とも云ふ)(二)紅……ブルセー(六)紫葡萄二號(原名ブローコルマン)(七)紫葡萄三號(紫雪霜と同種)(八)紫雪霜(九)黒牛妨(十)紫牛妨(十一)晩黄玉(十二)水昌葡萄(一……產地なるも滿洲には良品なく概ね僅少にして多くは關內北京山西乃至山東樓霞及び萊山地方產を輸入す前者は京奉線によりて輸入せらるれど此……は園圃の周圍に栽培せられ生食乾果蜜餞砂糖漬等に使用せらる又柘榴は觀賞植物として栽て其果實を食用に供せらる此果樹は寒氣及び乾燥に……利ならざるかは本井人の弟も注意を要するものなりとす


營造中の御所車

□京城神社にて營造中の御所車
來る九月下旬京都より到著の豫定

今度京城神社では大祭神幸用の神輿を廢して本式の御牛車即ち御所車を營造することゝなり既に京都の佛師高田茂助氏の手で謹製中である高田氏は明治天皇御大典の御輦車並びに今上陛下御即位御大禮の高御座を謹製申し上げたる代々宮內省の御用を奉仕せる名家であつた加茂、北野、今宮等の御牛車を拜見の上有職故實に考へて調製せるものであるが、御戸張り其他御簾裝飾用錦地等悉く京都西陣の特製に係るものである、元來此の神輿渡御の際用ひさすべき御所車は東京でさへ見られざるもので流石は本場の京大阪又は太宰府外二三ケ所のみである、京城神社の氏子が東京にも無い莊嚴の古式を祭典に執行はんとすることは大に歎賞に値すべきことである、圖に示すは即ち此の『御所車』で高さ一丈、身の高さ五尺八寸、梶棒より車蓋迄の長さ二丈、鳳輦の間口四尺四寸、同奥行七尺、中は疊三疊を敷くに足るといふ、而して之を曳く牛は咸南邊りの可成り大きな產牛を選び、一頭にて曳かしめ外に一頭の豫備牛を綱曳にて前に立たしむる由、殊に牛の撰擇は東亞牧場主の肥塚懲擔であるとのことである、尚ほ此の『御所車』は九月下旬京城到著の豫定であるが或は輸送の都合上十月上旬になるかも知れぬ併し十月十七日の大祭までには必ず間に合せる事になつてゐる

◉神前結婚が盛んになつた
◇◇古式を套習=喜ばしい美風
=京城神社では官吏の神前結婚が多い=

京城神社で行はるゝ神前結婚は近年段々盛んになつて一年百何十組に達し、多い日は一日に四五組もある事がある。元來神前結婚なるものは上

▽皇室に於て 御大婚の際神前に御奉告遊ばさるべきもので、臣下の者は御遠慮申上げてゐたが、僅か明治二十三四年頃、高木兼寛男が仲人になつて、東京日比谷の大神宮で神前結婚をさせたのが民間に於ける嚆矢であらう。それより大正二三年頃より段々此の式が盛んになつて、京城でも前記の如く

▽益々旺盛に なりつゝあるは洵に喜ばしい事である。京城神社では官吏の神前結婚が多い、兒玉伯の如き令嬢は總て神前結婚をなすことになつて居り、僅か赤十字社の大橋氏も新婚の時は元の南山大神宮即ち今の京城神社で神前結婚をしたと記憶する。檜垣元京畿道長官も三四人の令嬢が

▽結婚式を擧げる時は、總て京城神社で神前結婚したものである。近くは本紙に嘗て記した如く咸南道長官申應熙氏の令嬢が宇野京城高等女學校教諭と結婚した時も京畿道局工務課長小城齊氏の令嬢が秋山參事官の媒介で木島總督事務官と京城神社で神前結婚を行つた。其他華燭の典を擧げたときも京城神社で行つた。元來此の神前結婚なるものは大昔新郎新婦が結婚する時は必ず

▽八百萬神の 御前で行つたものであるから、其古式を套習するものに外ならぬ、彼の百人一首に『忘らるゝ身をも思はず誓ひてし人の命の惜しくもあるかな』といふ歌は取りも直さず、神前に結婚したのにも拘はらず、夫の方が先きに背いて自分を捨て了つたので背いたものは當時の掟で一旦

▽夫婦約束を したものが背いた時は、其の背いた方の男なり女なりが八百萬神の爲に八ツ裂の刑に遭ふといふ事を女心の優しくも、忘らるゝ我身は何うなつても構はないが八ツ裂にさるゝ郎君の命が惜しいと歎いた歌である。此の神といふのは何も火を吹出したり雲に乘つて步く魔神ではなく、太古は お上と申し

▽尊い御方を それが今の字で書く『神』であるから何も不思議はない譯で、八百萬とは多いといふ、形容詞であるから昔は背めにも神樣の前で結婚して誓ひを立てた以上、背いたり何かするが最後八ツ裂きにされたものであらう。今はソコへ行くと重寶なもので男が女を捨て樣が又た新らしい女とかいふ樣なトボケ者が出來て矢鱈に亭主を捨てゝしまつても祭政一致神の掟は恐ろか

▽法律こても 有夫姦なる限り何ともする事が出來ないのである、併し莊嚴なる上古の式典に則つて今は現世より遠く神去りませる事乍ら、畏くは永代に天津御座に輝きませる天照皇太神の神前に於て千代迄らじと誓を立つる上からは、若し背くものは必ず神罰が當りも仕樣背きさるものは、神力の御加護があるであらうと云ふので、日に增し

▽神前結婚が 行はれる譯であらう。殊に神前結婚は極めて虛禮を省いて安上りに付く、と云ふのは二十圓位を最上とし若し能く〳〵の貧乏人なら五圓でも三圓でも思召であるから此の小額の入費で人一代の重大儀式たる結婚が行はれる譯である。尚ほ近頃は季節でないから、左もないが多時分になると一日四五組も行はれる事が珍らしくないさうである。

◉朝鮮美術研究會の初會

今回朝鮮の美術に關する相互研究をなす目的にて美術研究會なるもの創立せられたるが來會者數十名に達し役員を左の如く選定したり

國分三亥、阿部充家、小田幹治郎、末松熊彥、鮎貝房之進(以上相談役)横山猶二、金谷靖、山口精(以上幹事)

十五日午前九時より貞洞西大門小學校內西大門俱樂部にて其初會を開きたるが規則及び申合條項を議決し出品書の說明あり夫れより會員の談話交換及び鮎貝房之進小田幹治郎氏の講話あり午後一時散會したり而して同會は別に會費を徵收せざるより每月第一日曜日を以て開催する筈なりと因みに當日の出品書は比較的少數なりしに拘はらず悉く眞物のみにて一點の如何はしきものなかりしは近來になき眞面目なる書會なりとて一同滿足せる由

◉美はしき表彰
釘本商店の模範的店員優待方法

京城本町金物商釘本商店では明治四十年に店則を作り以後營業上の純益を積立てそれが十年になると十年以上勤續した店員に對し其等級に依り

▽積立賞與金 を出す事になつてゐる、丁度去年の末で店則制定以來十年に達したので七月十五日午後五時から同店階上で第一回の積立賞與金授與式を擧行した、式には原田會頭青木商工課長其他立會し店員全部も廣間に集まつた、先づ店主藤次郎氏の挨拶あり左の如く積立賞與の目錄を授與した

二千三百四十圓　佐藤半次郎
同　遠雲祥
二千二百圓　伊藤勇次郎
一千九百五十圓　阿津阪義太郎
一千二百六十六圓　寺田信一
二百五十圓　中村秀一
一百圓　姜正三

右の內佐藤半次郎氏は本年一月退店して

▽京城で獨立 の店を開いてゐるが在店十四年に亙り大に店務に努めたと云ふので特別賞與として別に二千五百圓を授けた乃ち同氏は合計五千圓弱を得た譯である又寺田信一氏は丁度入店以來十年になるので之れも店則により勤續賞與金二百五十圓を與へられたが何れも受賞者は大ニコ〳〵の模樣であつた、釘本氏は曰く人を大勢使つて行くには何か

▽彼等を安心 させ樂しませて仕事に熱中する方法を講ずるのが必要である、其方法を弊店では勤續店員に對する各種の賞與金として居ますが、それを今日現實に授與した譯ですと云つてゐた、又原田會頭は釘本氏の此の擧が誠に店主として立派なやり方で斯くてこそ店員も主家のために十分働らく氣になるであらう、釘本商店の發展は蓋し故なきにあらず、かうした進んだ

▽結構な事を やらなければならぬ今度は店員表彰の必要があると語つてゐた尚ほ遠雲祥君は二十年も勤續してゐるさうで同店も非常に優待してゐるらしい又釘本商店は店員が入營しても其の期間を勤續年限に加へ在營中小使錢まで送るやうな仕組みになつてゐるさうだ

◆洗つた野菜は買はぬ方が好い

所今京城市內に赤痢の蔓延せんとする徵候ありこれにつき京畿道警務部當局は語りて曰く

近頃市內に赤痢病の流行すること及び其の豫防の方法等も大體貴紙に出てゐるから申上げる必要もないが、併し當局者として一言すれば、昨年は腸窒扶斯の方が多くつて赤痢病が尠かつたが、本年は夫れと反對で、赤痢は 本月一日より去る十四日までの四日間に三十一名の患者を 出だしてゐるに拘はらず、昨年は七月一日より十日迄の間に九名の患者があつたのみである。窒扶斯は之に反して昨年三十四名の患者があつたが、本年の七月一日より十日迄の發生患者は七名に過ぎない。而して殊に注意したきは赤痢は虎列拉と同樣口から病毒が入つて糞便及び

◆吐瀉物より他に 傳染するから一般に氣を付けなければならぬ。それが爲め實は十三日當

▽赤痢は何うして豫防するか

警務部へ京畿管內の各警察署長、各憲兵分遣隊長を召集し警務部長から訓示があつて、貴紙所報の如く防疫方法等に就て會同した次第であるが、それが爲め今後支那人其他內鮮人の賣りに來る青物類は一切畑から掘出した泥の付いた儘賣らせる事にしたといふのは彼等 青物商人又は農夫が何處でも彼處でも汚い水で有らうが 何で有らうが、そんな事は一切お構ひなしに泥さへ綺麗に落ちれば好いと云ふ考で洗ひ落して來るから、自然買ふ方でも表面綺麗になつてゐるので、碌に洗ひもせず、また甚だしきに至つては丸つ切り洗はずに其まゝ食膳に上ぼす者さへあるから、寧ろ畑から掘出した泥付のまゝを賣らせれば勢ひ買つた方で清淨な水道水で洗ふから非常に病毒を傳播することを避くる手段にならうと思つて斯くしたのである。而して赤痢病といふものは十中の十まで其の

◆患者が平素健康 であつて其上手當さへ好ければ必ず治るものであるといふ事を一般に知らしめたいと思ふ。元來此の病毒は口から入つて終に赤痢を患ふ事になるのであるから、平素各自の消化機關即ち胃腸を健康にする事が第一である。胃腸さへ健全なれば些し位の病毒に抵抗し得るものであるが、併し是れが自分で許り健康と思つてゐても何時の間にか知らず識らずの間に胃腸に故障を生じてゐるが解らないから宜しく萬全を望むのならば 些しでも腹加減が惡く無くつても醫師の診察を受けて置く必要が あらう。さうして前の如くに胃腸が健全だつたら病毒の體內へ侵入する事を防ぎ得るが、萬一赤痢に罹つたといふ疑ひの起つた場合は早速醫師の診察を請ふべきである。是れが赤痢ではあるまい杯と素人考へに高を括つてゐたら最期、折角治るべき病氣も油斷した爲めに取り返しの付かぬ事になるから能く〳〵氣を付けなければならぬ。要するに時節柄吐いたり下痢したりする者があつたら

◆早速醫師を迎へ て診察を受け、それと同時に患者の糞便や吐瀉したものは充分に嚴重な消毒をしなければ否けぬ。それと又た命の惜しい人は平素自分の胃腸を健全にする事を心懸けねばならぬ。故に日頃努めて消化れ易く新らしい食物を攝取し、井戸の水抔は無論のこと水道の水と雖も生の水は決して飲まぬこと更にサイダー、氷水、ラムネの類も可成く小量に飲むことを心懸けるのが肝要である。といふのは假令病毒の氣がない飲料でも多量に飲み過ぎると 胃腸を害ふから病毒を體內で養成する結果に なるのである、尚ほ特に注意したいのは小兒の寢冷である、是れが爲め往々頑是もない小兒が寢冷から消化器を害して恐るべき病毒に感染した例は現に今度京城にもある兒を有てる母親は充分注意しなければいけぬ

えんげい

◎壽座の天一一行 十六日より五日間壽座にて開催する由

◎涼み淨瑠璃會 浪花節にて十六日より三日間素人連の涼み淨瑠璃會を催す由初日の語り物は次の如し
本藏屋敷(糸奈良梅)下總屋裏(糸奈良梅)日吉丸三十(糸竹彌)城木屋十六(糸竹副)皿屋敷登館(糸若芽)四谷(糸樹若)壽谷昭盛(糸樹若)

◎阿片罪 市內公平洞六十二番地料理店支那人孔慶琳(三二)は阿片罪にて檢擧されたるが度々の事とて十四日檢事局送り

■鳥致院
▲鐵道事務の引繼 滿鮮鐵道併合に付き鐵道局は各事務準備全く完了し居れり▲驛勢一般 鳥致院驛昨今の狀況を聞くに乘降客並に移出入共昨年度に比し增大しつゝあるも米穀の移出は六月中に於て農民間の田植ゑ終り込み等なく常に相當の出廻りあり加ふるに本年は始め旱天打ち續き最近に至りて豪雨驟然として來り水害各處に起る等の事ありて農民の順調は益々彼等の此の傾向に油を注ぎたるものゝ如し此等諸原因は本年度の閑散狀態を現出するに至るもの如し故に或る時期を……

◎逸せし大豹は山犬 既報の如く六甲山に現はれしと傳へらるゝ豹は山犬ならんとのこと一致し搜索隊は引上げたり(大邱電話)

タカヂアスターゼ配劑
よく通じる
健通丸
大阪 參天堂藥房 發賣

(柳屋特製品)
乾海苔
味付海苔
燒海苔
夏でも御飯のおいしく頂ける
海苔佃煮
東京日本橋通り二丁目
海苔商 鰹節商 柳屋
電話本局 六五二 口座東京 一二七六

江戸の氣は今日はなりけり海苔の味

鉛筆！
「ネダンノヤスイエンピツ」
「ツカイゴコチヨイエンピツ」
「ケヅツテオレナイエンピツ」
京城本町二丁目
熊平支店
電話六二四番 振替京城一二三番

中部鐵道管理局長 長尾半平著
禁酒
第拾五版 定價(上)五十錢(郵)四錢 (並)二十錢(郵)二錢
禁酒黨には千軍萬馬の聲援、飲酒家には禁酒を過る權威の叫び
東京麴町三丁目(振替東京七八四七) 丁未出版社
(目錄進呈)

臨時土地調査局
購買
第一號朝鮮紙 五十八萬枚
第二號寒水引美濃紙 參拾五萬壹千枚
詳細ハ十六日以降ノ朝鮮官報ニアリ

內科 小兒科
京城明治町
婦野醫院
電話二〇四番

最良香油
八千代
わらびの油
東京 森井善製 本舖 藤森源之助
各種懸賞賞牌數個受領

來る二十二日土用うし
うなぎ
今回最良の鰻多數仕入特別大勉強仕候間御用の節は電話二〇四六番へ御用命被下度直に御屆け申候尚御客樣の御意に召す樣室內庭園を改良し伸居數名召抱へ料理は新鮮なる材料を撰び安價を旨と致候間是非御來遊の上御試食奉願候
蒲燒 御料理 柳川 一式
京城旭町一丁目
電話二〇四六番
權平庵 中井ゆく

有樂館の御禮大興行
文藝大寫眞『マクベス』上場中は空前の御愛顧に依り滿四日間晝夜八回滿員續きの盛況を辱ふし難有御禮申上候本日より御禮興行として『特撰大寫眞』と『連鎖劇』を普通料金にて御覽に入れ候間陸續御來覽の榮を賜り度希上候
米國ユニヴアーサル會社特作連續大寫眞
◎終篇『紫の覆面』全四卷 完結
東京小林商會本年五月の特作
◎新派連鎖劇『俠艷錄』全五卷
◎劇中の劇『重の井子別』竹本糸光出語
有樂館の御禮大興行

花筐（はながたみ）（五六）

松田竹の島人作

何事にも氣の利く田淵は、土産代りだと言つて、壹圓紙幣二枚を紙に包んで出したから、嘉七夫婦は彌々田淵が有難く尊く爲つて、そして流石に立派な豪い人と知り合ひに爲つてゐるお豐を又豪いものだと思つた。

田淵が、早見の部屋へ案内してくれといふので、嘉七が先きへ立つて案内し例のぎし〳〵音のする脆弱い梯子を昇りながら。

『早見さん御客様ですよ。』と知らせた。

此時は最う、大姿が疑つた跡で、早見は電燈の下に、不潔い机を据ゑて、何にか著述物に筆を執つてゐた。

嘉七が客を知らせた聲に、客とは誰れだらう、今では大森の外には來る者はないがと思ふ内に、嘉七は田淵を案内して入つて來た。

田淵が快活に、

『早見君久潤だねえ。』と言ひながら嘉七と並んで坐ると、早見は其顔を見て、

『君は田淵君だねえ。』と意外なのに驚いて、眼を瞠つた。

『君に變りがなくつて結構だよ。僕も相變らず元氣でねえ。』と田淵は言ひながら、袂から皮製の巻煙草を取出し、室内を見廻はして、其不潔さに思はず眉を顰めた。

『僕が此處に居ることを、君は什麼して知つたのだい？。』と早見は不審らしく、田淵と嘉七の顔を互み代りに見る。

『僕は『此處の主人を知つてるもの』

『そりや意外だねえ。』と早見は又も呆れる。

田淵は、机の上にあつた燐寸を取り、巻煙草へ点けて吸ひながら、

『君が何處に隠れてゐるか、其麼に捜索したか知れんよ。僕にだけは居處を知らしても可いぢやないか。』

『だつて知らせる必要もないからねえ。』と早見は、何んとなく當て付けがましく言ふ。

『そりや餘り酷だよ。中學時代から石島先生の處に一緒にゐて、同じ釜の飯も喰つたし、同時に大學を出た僕で、外の友人とは違うからね。』

『だツて君、會社を失敗して、身を隠す僕だもの、知らせる理由に往かんぢやないか。』

『郷里だツて同じで、特別に關係の深い僕だから、縦令身を隠すにしても、僕だけには知らしたつて可いだらうに。』と田淵は恨みがましく言ふて、早見の顔色を窺つた。

嘉七は、何時までも傍に居て、二人の話談の邪魔を爲るでもないと、『田淵の旦那様御寛り』と追從を言つて、階下へ降りた。

田淵は、正座を胡座を換へて、『一と月ばかり前に、妙なところで春子に逢つたよ。』

『春子ツて赤阪のかね？。』

『然うさ。』

早見が攀花折柳の巷に入り浸りであつた頃には、春子に夢中に爲つてゐた。けれども會社を失敗つて、見る影もなく落魄するに至つては、總ては短夜の夢と覺めて、春子の縁々とした姿は、頭腦から抜け出してゐたから、春子に逢つたと言はれても、何等過去の戀を喚び出すに足らなかつた。

『今は稼業を休んでるよ。』

『然うかね。』

早見の匿へは冷淡であつた。けれども田淵は何故か、

『君が會社を失敗つてから、彼女も可哀想なもんで、とう〳〵赤阪にも居られなくなつてねえ。丁度君が彼女を窮困らせたやうなものだよ。』と飾りに春子の噂を爲るのであつた。

◎雜林同人詠草

老人 丸野

道とへば杖をたてつゝねむごろにおしへける翁かな

四十すぎし我にむかひて今もなほ幼き時の名を呼ぶをきな

こゝせまへと十年のいきもかよはず……

……

名ざこみをかたりなおもに草ひくを……

丈なせる姫菅くはへて牛ひきて野路ゆくをむよ物思もあらじ

讀者の領分

▲『論』は探偵物としては女が少いやうですね築さんの外にまだ女が出ますか（好子）そつとお知らせします築さんの戀敵（？）が出さうです（一文選子僧）▲新歸朝者と公憤生との論に對し我輩は其當否を採決す、博物館は靴のまゝ縦覧し得る設備を爲しながら洋装の日本人に之を許さずして外人のみに許すと云ふの不公平なるは論の餘地なし公憤生の土足の民でないから脱靴しても恥でないと云々は全然誤點が間違つて居る自由意思で脱靴するは恥でもあるまいけれど靴のまゝ行ける處を脱靴せしめらるゝ程侮辱の甚しきものはない公憤生は反駁するなら最少し理論的なるべし然らざれば公憤に非らずして私憤に如かず又新歸朝者の言に對して公憤生が公憤する理屈はない兎角の屁理屈を並ぶるは追回しかなんぞより悪むるの外なし（南山隠人）▲南大門内外門足には絶わず放尿するが爲め不潔にして臭氣烈敷は諸者の知悉せらるゝ所且つ追々暑氣に向ひ同所は乞食體の巣所となり門内の暗黒に乗じ蓆を設け安眠するを實見す夜間婦女子の通行は不可能なり聞くは門内に點燈せらるゝと共に折角の京城の玄關たる同門の通行に堪へ得る様取締りありたし敢て注意を喚起す（一府民）▲内地人の理髪店は刈込二十五錢乃至三十錢であるが朝鮮人の床屋は二十錢乃至十五錢支那人の日本式床屋は十五錢である併し三十錢は三十錢らしい刈方の頭になり十五錢は十五錢らしい頭になる之を要するに高低なしの五分刈にするのなら兎も角日本人らしい頭になりたいと思へば内地人床に逝くべしだ（丹波守）

大阪より

支局記者

……用し文部省直轄商事大學實現の運動を開始すべし、私學として功顯事ら……手當を支給せる外藤本銀行の三割宇……

▲同盟罷工の流行は物價昂騰生活難は各處に遠慮なく起るべし。▲歐亂以來際物會社の簇出と共に……より來れるは勿論なり、目下一圓に……るに拘らず三千名の解雇職工を出せ……しむる如くなる……

……

脳神経衰弱ヒステリー

患者の一大福音

夏の今、頭腦の保健が肝要 醫學大家の精神的療法を聞け

◈頭の具合が惡るい　話を聞けば神經衰弱！

頭が重くるしいヅキ〳〵痛むと云ふ事は兎く神經の事だと係り氣に留めない人が往々ある。之は大きな間違ひで神經衰弱から一生の運命を支配する事になる要心が一生の運命を支配する事になる。

◈卸説此頭腦へ閉られる様な不快る氣分を持ちする時には腦底を刺く様な痛みも感ずる時に頭の半面が紙を張つた如に透徹しないと云ふ頭が著いて御勝手に診て貰つたら神經衰弱だ心を安静にして安眠を續くのは幾たと云ふ者に能く有る工夫をしなさいと云ふ位。

◈夜眠れる方法はないか？　記憶が悪くなつて閑かならぬ

夜寝付けば眠を貪れるといふ事は無理にして頭腦を錯亂させて消々した氣分になれない原因であらうが何うして寝つけず惡夢に悩はれて記憶力がない其に記憶力が衰へて何も彼も忘れをして長續きがしなくなつた。慨惜する惡觀を寄する。果ては憂鬱に捉はれて『女なら』ばヒステリーと云ふのは之だと思ふ位焦れつぽくなつた。若し信應事が長く續くとすれば狂ひ死をするかも知れぬと自暴氣味に放て置けば一層惡くなる許りである。

◈一道の光明が閃と目に留る

◈神に救はれた於以上の歡喜

新聞の廣告は誇大なものでで信用が出來ないと再三斷つたが友人が自分の全快した例を楯に取つて懇める熱心に仍て評判は兼々聴いて居た腦病良藥レーベンを一週間服用して見たの氣の爲か通じもあつて可也其各が往い、頭の重みも薄らいで夜も前と異なつて眠られる様になつた。一道の光明が目の前に閃いた様な氣がしてレーベンが怎して適藥であるかに就て研究して見た。

◈學者博士が證明推薦する道理

レーベンを發見した當持醫學士は之が爲に半生を犠牲にした位で藥學上醫學上の立場から岡田醫學博士森醫學士を初め陸海軍醫大官其他が執れも推賞せられ有効を證明せられたのであつた。即けばレーベンは

（一）燐酸と云つて腦の要素をなす高價な藥が澤山に加味してある事。

（二）純植物性藥質を有するから永く常食する日本人には最も適す。

（三）和漢洋法を折衷して得たる良劑で而も最新文明式の製劑法に成つた事。

の三が他の藥に絶對見られない特徴である。成程さうだなと云ふ事が自分にも飲込めたので又一週間服用する程に頭が冴々して元氣が出て來た。

◈民間藥第一の權威はレーベン

◈健腦の法は只これ一つである

レーベンは世に能くある山師的の藥でない事は責任ある專門學者の證明と服用實驗者の告白とで明かである私は茲にレーベンを天下萬人に推薦するに就て述べなければならない二つの事がある其一つは發見者たる當持醫學士が腦病神經病者の爲に治療法を著述し、單に服藥するに留らず家庭の療法の妙諦を患者に知らせ博愛的の著述を中南氏に依りて汎く天下に無代頒布しようとせられた事第二は當持醫學士の博愛的な事業を實施する發行者中南定太郎氏が自分の天職に忠實であつて自ら瀬淵支那の朝鮮を視察して漢藥の産を研究し來た自己の手で全國の最も地味の適した地に藥草園の經營を志て世界的大戰亂に際しても藥價の値上げをしないで其豐富なる資金を投じて生藥の收集に勤め高貴藥燐酸を少しも惜まず加味すると云ふ事はレーベンならでは出來ない處だと感じた。

◈この難病が是程容易く癒る！

『腦病神經衰弱に適藥なし』と云はれた時代はレーベンがない頃の愚論である。一日も早くこの難病から免れて幸福なる生活を送らなさせば是非ともレーベンを服用するに限る。

腦病神經衰弱に惱む人、其兆候のある人は藥用の如何に不拘今直ぐ東京市芝區愛宕町二十二、弘濟藥院、中南定太郎（電話長京橋三〇八番）宛ハガキで御申込になれば醫學士當持治著『腦神經衰弱療法』及博士學士の述べられた『精神療法』の二冊を無料で進呈します。何と云つても身體が第一である。遠慮せず今直ぐ申込みなさい。大阪以西の人は大阪東區安土町筋角の中南大阪事務所（長電話本局三〇〇七番）へ申込みになれば送ります。直ぐ藥が入用なれば藥價は五十錢、八十五錢、一圓六十錢、三圓、五圓五十錢等である。

京日案内

▲店員入用　▲尺八……　▲鑛物定量分析　▲ほねつぎ　柔術道場　▲恩給年金……　▲鑛物定量分析所　▲京城　自働車……

最新刊

名所旅行案内……　西洋美術……　子供本位の……　北……　……　日本文明……　ハイド使用法……　日本行政法……　現行合法……

學生諸君の模範

大阪屋號書店

櫻谷質舗

京城北米倉町(三六一一番)　電話一八五四番

中元暑中

ホーカー白粉

他に類なく好評の白粉

○自然らしい白さにつく　○ノリノビ好い　○肌の艶を整へる　○ツク力が強く化粧崩れがしない　○洗つた後まで白くなる　○肌アレ日ヤケを防ぐ　○何ひ豊かに艶麗さを増す

定價一瓶二十五錢　送料……

本舖　東京……堀越嘉太郎商店

汽船釜山出帆廣告

門司、神戶、大阪行　八月……　○和歌浦丸　○立神丸　○元山……

仁川代理店　野口商會

日本郵船出帆

共同汽船出帆

朝鮮郵船出帆

○開門より釜山各地經由雄基行　本社　電話長一九五三番　京城……　松原運送店

尼崎汽船出帆

釜山、木浦、下關、神戶、大阪行

大阪商船出帆

○神戶、大阪行　京東丸　八月三日　後二時出帆
○南部丸　七月十九日　後二時出帆
○京東丸、神戶、大阪行　七月十八日　後二時出帆
○長崎、釜山、嚴原、博多、大阪行　七月卅一日　後二時出帆
○濟南丸　七月十六日　後二時出帆
○安東丸　七月廿六日　後二時出帆
○清津行　七月廿七日　後十二時出
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店